

高等学校 令和5年度（1 学年用）教科 国語 科目 現代の国語

教科：国語 科目：現代の国語 単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（新編 現代の国語 大修館書店）

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- 【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・ 聞	書	読					
1 学 期	1 ことばをひらく 【知識及び技能】 主張と根拠などの関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 筆者の主張をふまえて、「現代の国語」の学習に前向きに取り組もうとしている。	・指導事項 ・教材「『変わる』ことを楽しもう」			○	【知識・技能】 ・主張と根拠などの関係について理解している。〔2ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。〔C1ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者の主張をふまえて、「現代の国語」の学習に前向きに取り組もうとしている。	○	○	○	5
	2 日本語を使いこなす 【知識及び技能】 場面や目的に応じた適切な言葉、敬語の正しい使い方、類義語のニュアンスについて正しく理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴をふまえ、場面に応じた適切な言葉や表現を工夫する。 「書くこと」において、場面や目的に応じた適切な言葉を選び、表現のしかたを工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を正しく使い分けることに意欲をもち、言葉を意識して、自らの言語生活を豊かにする。	・指導事項 ・教材「ことばの使い分け」 ・一人1台端末の活用 等		○	○	【知識・技能】 ・場面や目的に応じた適切な言葉、敬語の正しい使い方、類義語のニュアンスについて正しく理解している。〔1イ〕 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴をふまえ、場面に応じた適切な言葉や表現を工夫している。〔A1ウ〕 ・「書くこと」において、場面や目的に応じた適切な言葉を選び、表現のしかたを工夫している。〔B1ウ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・言葉を正しく使い分けることに意欲をもち、言葉を意識して、自らの言語生活を豊かにしようとしている。	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1
	3 わかりやすく説明する 【知識及び技能】 文、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解する。個別の情報と一般化された情報との関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に学習に取り組み、説明のしかたをとらえようとする。	・指導事項 ・教材「生きることと食べることの意味」 ・一人1台端末の活用 等			○	【知識・技能】 ・文、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。〔1オ〕 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。〔2イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。〔C1ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に学習に取り組み、説明のしかたをとらえようとしている。	○	○	○	7
	4 聞く力を育む 【知識及び技能】 話し言葉の特徴をふまえ、適切な言葉遣いや表現を理解し、使う。 【思考力、判断力、表現力等】 「話すこと・聞くこと」において、	・指導事項 ・教材「ミニインタビューをしよう」 ・一人1台端末の活用 等				【知識・技能】 ・話し言葉の特徴をふまえ、適切な言葉遣いや表現を理解し、使っている。〔1イ〕 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、適切な				

	て、適切なテーマを決め、必要な情報を収集するためにインタビューのしかたを工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 インタビュー活動に興味をもち、積極的に学習に取り組もうとする。		○	○	インタビューのしかたを工夫している。[A(1)ア] ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を予想して話の内容や展開、質問のしかたを工夫しながらインタビューを行っている。[A(1)エ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・インタビュー活動に興味をもち、積極的に学習に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	定期考査					○	○		1
	5 論理を読み取る 【知識及び技能】 ・ 比喩、例示、言い換えなどの修辭や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解する。個別の情報と一般化された情報との関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 積極的に学習に取り組む、具体と抽象の関係、具体例の役割、筆者の主張などをとらえようとする。	・ 指導事項 ・ 教材「水の東西」 ・ 一人1台端末の活用 等			○		○	○	6
	6 伝え合いのレッスン 【知識及び技能】 ・ 話し言葉の特色をふまえ、相手に配慮した言葉遣い、わかりやすい言葉遣いを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 「話すこと・聞くこと」において、目的に応じて情報を収集、整理し、自分の立場や考えを明確にして、構成や展開を工夫しながら話す。「話すこと・聞くこと」において、議論の広げ方や深め方、結論の出し方を工夫して話し合う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 話し合いの活動に興味をもち、よりよい話し合いをしようとする。	・ 指導事項 ・ 教材「テーマを決めて話し合う」 ・ 一人1台端末の活用 等	○	○			○	○	7
2 学 期	定期考査					○	○		1
	7 説得力を高める 【知識及び技能】 ・ 主張と根拠の関係や、話の効果的な組み立て方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 討論をすることに興味をもち、意欲的に取り組もうとする。	・ 指導事項 ・ 教材「ミニ討論会をしよう」 ・ 一人1台端末の活用 等	○	○					7
	8 情報と向き合う 【知識及び技能】 ・ 主張と根拠など情報と情報との関係について理解する。情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 「読むこと」において、文章や図形などに含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりし、自分の考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 視点や根拠に注意し、文章や図形などから必要な情報を読み取ろうとする。	・ 指導事項 ・ 教材「情報の力関係」 ・ 一人1台端末の活用 等			○		○	○	6

	定期考査								○	○		1
3 学 期	9 他者を動かす 【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確にわかりやすく話したり、効果的な発表資料を作成したりする。 【思考力・判断力・表現力等】 「話すこと・聞くこと」において、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いながら、相手の心を動かすことができるよう表現を工夫して発表する。 【学びに向かう力、人間性等】 プレゼンテーションすることに意欲をもち、積極的に学習に取り組む。	・指導事項 ・教材「プレゼンテーションをしよう」 ・一人1台端末の活用 等				○	○			○	○	6
	10 社会に目を向けて 【知識及び技能】 例示や言い換えなどの述べ方について理解する。筆者の主張とその根拠の関係について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 「読むこと」において、筆者の主張とその根拠となる具体例についてとらえる。「読むこと」において、文章の内容について自分の考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで文章の内容をとらえようとするとともに、自分の考えをもち、意欲的に伝えようとする。	・指導事項 ・教材「何のために『働く』のか」 ・一人1台端末の活用 等				○						7
	定期考査								○	○		1 合計 70

年間授業計画

高等学校 令和5年度（1学年用）		教科	国語	科目	言語文化
教科：国語	科目：言語文化	単位数：	2	単位	
対象学年組：第 1 学年	1 組～ 6 組				
使用教科書：（ 新編言語文化 大修館書店					）
教科 国語	の目標：				

- 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- 【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
	【学びに向かう力、人間性等】
	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、障害に渡って読書に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	1 言葉と出会う 【知識・技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえる。 【学びに向かう力】 ・言葉についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、日常使っている言葉を見つめ直す。	・指導事項 ・教材「季節の言葉と出会う」			○	【知識・技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。〔(1)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえている。〔B (1)ア〕 【主体的に取り組む態度】 ・言葉についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、日常使っている言葉を見つめ直すとしている。	○	○	○	5
	2 古文に親しむ 【知識・技能】 ・誰の発言かに注意し、物語の内容を読み取る。 ・漢字の読みと日本の言語文化についての理解を深める。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価する。 【学びに向かう力】 ・古文を読むことに興味をもち、積極的に音読したり響きやリズムを味わったりする。	・指導事項 ・教材「古文への招待」 『宇治拾遺物語』『十二の『子』文字』 ・一人1 台端末の活用 等			○	【知識・技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。〔(1)ア〕 ・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。〔(2)エ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。〔B (1)イ〕 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価している。〔B (1)ウ〕 【主体的に取り組む態度】 ・古文を読むことに興味をもち、積極的に音読したり響きやリズムを味わったりしようとしている。	○	○	○	3
	定期考査						○	○		1
	3 漢文に親しむ 【知識・技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 【学びに向かう力】 ・漢文に興味をもち、訓読に意欲的に取り組もうとしている。	・指導事項 ・教材「訓読のきまり」 「格言」「再読文字」「蛇足」 『論語』 ・一人1 台端末の活用 等			○	【知識・技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。〔(2)ア〕 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。〔(2)ウ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。〔B (1)オ〕 【主体的に取り組む態度】 ・漢文に興味をもち、訓読に意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	4 随筆を楽しむ 【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、音読して古文の読み慣れ、文章の内容を正確に読み取る。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力】	・指導事項 ・教材『徒然草』 ・一人1 台端末の活用 等			○	【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解している。〔(2)ウ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。〔B (1)ア〕 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。〔B (1)イ〕 【主体的に取り組む態度】 ・『徒然草』に興味をもち、作者のものの見方や感じ方を読み取り、自分の考えをもとうとしている。	○	○	○	8

【予習に問がッリ】 ・『徒然草』に興味をもち、作者のものの見方や感じ方を読み取り、自分の考えをもつ。					している。				
定期考査			○	○			○	○	1

2 学 期	5 文化を見つめる 【知識・技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。 【学びに向かう力】 ・日本文化の特質について筆者の主張をとらえることに興味をもち、日本文化の特色について理解を深める。 ・デザインをとおして、日本文化の特色について自分の考えを深める。	・指導事項 ・教材「足し算の文化、ほどほどのデザイン」			○	【知識・技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 〔2)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえている。〔B(1)ア〕 【主体的に取り組む態度】 ・日本文化の特質について筆者の主張をとらえることに興味をもち、日本文化の特色について理解を深めようとしている。	○	○	○	4
	6 古典に親しむ 【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力】 ・作品に興味をもち、事件の展開や登場人物の行動を読み取る。	・指導事項 ・教材『今昔物語集』『阿蘇の史』 ・一人1台端末の活用 等			○	【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解している。〔2)ウ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。〔B(1)ア〕 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。〔B(1)イ〕 【主体的に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、事件の展開や登場人物の行動を読み取ろうとしている。	○	○	○	4
	定期考查			○	○		○	○		1
	7 物語を受け継ぐ 【知識・技能】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使う。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深める。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価する。 【学びに向かう力】 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとする。	・指導事項 ・教材『羅生門』 ・一人1台端末 等			○	【知識・技能】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。〔1)イ〕 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。〔2)カ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。〔B(1)イ〕 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。〔B(1)ウ〕 【主体的に取り組む態度】 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	○	○	○	9
	8 漢文を楽しむ 【知識・技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 【学びに向かう力】 ・漢文に興味をもち、訓読に意欲的に取り組もうとしている。	・指導事項 ・「人面百花」 ・一人1台端末の活用 等			○	【知識・技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 〔2)ア〕 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。〔2)ウ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。〔B(1)オ〕 【主体的に取り組む態度】 ・漢文に興味をもち、訓読に意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	定期考查			○	○		○	○		1

3 学 期	9 近代文学に触れる 【知識・技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価している。 【学びに向かう力】 ・作品に興味をもち、作品の表現に注目しながら読もうとしている。 ・元になった古典作品との比較を踏まえて、内容の解釈を深める。	・指導事項 ・教材『夢十夜』『形』 ・一人1台端末の活用 等			○	【知識・技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)ウ〕 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。〔(2)力〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価している。〔B(1)ウ〕 【主体的に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、作品の表現に注目しながら読もうとしている。 ・元になった古典作品との比較に興味をもっている。	○	○	○	9
	10 ことばと生きる 【知識・技能】 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 【学びに向かう力】 ・作品に興味をもち、場面の様子や人物の心情を想像したり文章表現を味わったりしようとしている。 ・読み取ったことを踏まえて、自分の経験を振り返り、考えを深める。	・指導事項 ・教材「祖母が笑うということ」「ことばは光」 ・一人1台端末の活用 等			○	【知識・技能】 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。〔(1)エ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価している。〔B(1)ウ〕 【主体的に取り組む態度】 ・時代背景や歴史的事実に興味をもち、筆者の考えを読み取ろうとしている。 ・筆者の経験やものの見方を読み取ることに教務をもち、自分の考えを深めようとしている。	○	○	○	7
	11 物語の広がり 【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価する。 【学びに向かう力】 ・作品に興味をもち、登場人物の行動や場面の展開、和歌に表れた心情を読み取る。	・指導事項 ・教材『伊勢物語』 ・一人1台端末の活用 等			○	【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解している。〔(2)ウ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。〔B(1)ア〕 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。〔B(1)ウ〕 【主体的に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、登場人物の行動や場面の展開、和歌に表れた心情を読み取ろうとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		○	○		1 合計 70

高等学校 令和5年度（1 学年用） 教科 公民 科目 公共

教 科： 公民 科 目： 公共 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（ 第一学習社 高等学校新公共 ）

教科 公民 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】主体的に活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】公正に判断する力や合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚を深める。

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	公共的な空間をつくる私たち 【知識及び技能】 自分自身が自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることが、自らのキャリア形成とともに、よりよい社会の形成に結び付くことを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 公共的な空間と人間との関わり、個人の尊厳と自主・自律、人間と社会の多様性と共通性などに着目して考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間をつくる私たちについて、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。	指導事項 ①社会に生きる私たち ②個人の尊厳と自主・自律 ③多様性と共通性 ④伝統文化とのかかわり ⑤自立した主体をめざして 教材 ・ワークシート等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 学習内容について理解している。 【思考・判断・表現】 多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 知識の習得に取り組み、ワークシート等の作成をとおして学習内容を整理している。	○	○	○	5
	公共的な空間における人間としてのあり方生き方 【知識及び技能】 人間としての在り方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 幸福、正義、公正などに着目して考える。 【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間における人間としてのあり方生き方について、選択・判断の手掛かりとなる考え方も活用しながら、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。	指導事項 ①人間と社会のあり方についての見方・考え方 教材 ・ワークシート等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 学習内容について理解している。 【思考・判断・表現】 多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 知識の習得に取り組み、ワークシート等の作成をとおして学習内容を整理している。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	公共的な空間における基本原理 【知識及び技能】 人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など公共的な空間における基本原理について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 幸福、正義、公正などに着目して	指導事項 ①人間の尊厳と平等、個人の尊重 ②民主主義と法の支配 ③自由・権利と責任・義務 ④日本国憲法に生きる基本原理 教材 ・ワークシート等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 学習内容について理解している。 【思考・判断・表現】 多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 知識の習得に取り組み、ワークシート等の作成をとおして学習内容を整理している。	○	○	○	7
	法的な主体となる私たち 【知識及び技能】 法の主体として、関わる現実社会の事柄や課題を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 法の主体として、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。	指導事項 主題1 法や規範の意義と役割 主題2 契約と消費者の権利・責任 教材 ワークシート等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 学習内容について理解している。 【思考・判断・表現】 多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 知識の習得に取り組み、ワークシート等の作成をとおして学習内容を整理している。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	政治的な主体となる私たち 【知識及び技能】 政治的な主体として、関わる現実社会の事柄や課題を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 幸福、正義、公正などに着目し	指導事項 主題4 政治参加と公正な世論形成 主題5 国際社会と国家主権 主題6 日本の安全保障と防衛 主題7 国際社会の変化と日本の役割	【知識・技能】 学習内容について理解している。 【思考・判断・表現】 多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 知識の習得に取り組み、ワークシート等の作成をとおして学習内容を整理している。				14

2 学 期	て、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 政治的な主体として、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。	割 教材 ・ワークシート等 ・一人1台端末の活用 等	知識の習得に取り組み、ワークシート等の作成をととして学習内容を整理している。				
	定期考査			○	○		1
	経済的な主体となる私たち 【知識及び技能】 経済的な主体として、関わる現実社会の事柄や課題を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 経済的な主体として、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。	主題8雇用と労働問題 主題9社会の変化と職業観 主題10市場経済の機能と限界 主題11金融のはたらき 主題12財政の役割と社会保障 主題13経済のグローバル化 教材 ・ワークシート等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 学習内容について理解している。 【思考・判断・表現】 多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 知識の習得に取り組み、ワークシート等の作成をととして学習内容を整理している。				14
	定期考査			○	○		1
3 学 期	持続可能な社会づくりの主体となる私たち 【知識及び技能】 持続可能な社会づくりの主体として、関わる現実社会の事柄や課題を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 持続可能な社会づくりの主体として、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。	指導事項 ①排出権取引を考える～地球環境問題 ②バストミックスを考える～資源・エネルギー問題 ③ゲノム編集を考える～生命倫理 ④インターネットによる投票を考える～情報 ⑤フェアトレードを考える～国際社会の課題 教材 ・ワークシート等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 学習内容について理解している。 【思考・判断・表現】 多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 知識の習得に取り組み、ワークシート等の作成をととして学習内容を整理している。				10
	定期考査			○	○		1
				○	○		合計 70

高等学校 令和5年度（1学年用）教科 数学科 科目 数学Ⅰ

教科：数学科 科目：数学Ⅰ 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 5組～6組

使用教科書：（最新数学Ⅰ（数研出版））

教科 数学科 の目標：

- 【知識及び技能】問題を正確に理解し、定義や定理等をもとに式を立てることで適切に計算できる。
- 【思考力、判断力、表現力等】公式を暗記して計算するだけでなく、その式の成り立ちについて理解している。
- 【学びに向かう力、人間性等】授業に積極的であり、家庭学習用の課題についても意欲的に取り組んでいる。

科目 数学Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、二次関数、図形と計量、集合と命題、データの分析について、基礎的な知識の習得を目指し、それを活用する力を身に付ける。	数と式、二次関数、図形と計量、集合と命題、データの分析について、事象を数学的に考察する能力や、式の成り立ちについて理解し、またそれを説明できる。	数と式、二次関数、図形と計量、集合と命題、データの分析について、興味・関心をもてるとともに、課題に対しても積極的に取り組める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	第1章 数と式 第1節 数と式 多項式の加法、減法、乗法の計算ができるようにする。また因数分解についても簡単なものから思考力を必要とするような問題まで扱えるようにする。 第2節 実数 有理数、無理数の定義を理解させるとともに、有理数である循環小数を分数表記に変換できるようにする。また、根号のを含む式の加法、減法、乗法さらに分母の有理化ができるようにする。	【指導事項】 ・数と式 ・実数 【教材】 教科書：数研出版「最新数学Ⅰ」 補助教材：数研出版「3 ROUND数学Ⅰ」	【知識・技能】 授業内での発問 課題プリント 【思考・判断・表現】 定期考査 知識の有無に関わらず、問の本質を見抜けているかどうか 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内での発問 課題プリント 理解できなかったとき質問が出来る	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	第1章 数と式 第3節 1次不等式 1次不等式を解けるようにする。また、文章題を読み解き、1次不等式を立てられるようにする。 第2章 集合と命題 集合と要素の定義、集合同士の関係や、そこから導かれる法則などについて理解させる。さらに、集合で学んだ包含関係が命題の真偽を決定づける重要な役割を持つことについて考察させ、具体的な問題における真偽を判定できるようにする。さらには背理法を用いる証明問題にも取り組めるようにする。	【指導事項】 ・実数 ・1次不等式 ・集合 【教材】 教科書：数研出版「最新数学Ⅰ」 補助教材：数研出版「3 ROUND数学Ⅰ」	【知識・技能】 授業内での発問 課題プリント 【思考・判断・表現】 定期考査 知識の有無に関わらず、問の本質を見抜けているかどうか 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内での発問 課題プリント 理解できなかったとき質問が出来る	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
2 学期	第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ 代表的な点をいくつか取ること で、簡単な2次関数のグラフがかけるようにする。また、一般の2次関数についても平方完成すること で、グラフの概形が決まることを理解させる。そして、その平方完成の計算手法についても習得させる。 第2節 2次方程式と2次不等式 2次方程式・2次不等式と2次関数の関係性について考察できるようにする。そして、問題をグラフ的背景を踏まえて解くことができるようにする。	【指導事項】 ・命題 ・2次関数とグラフ 【教材】 教科書：数研出版「最新数学Ⅰ」 補助教材：数研出版「3 ROUND数学Ⅰ」	【知識・技能】 授業内での発問 課題プリント 【思考・判断・表現】 定期考査 知識の有無に関わらず、問の本質を見抜けているかどうか 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内での発問 課題プリント 理解できなかったとき質問が出来る	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	第4章 図形と計量 第1節 三角比 三角比の定義を理解させる。また、三平方の定理を用いることで、三角比に関する相互関係が得られることを理解させ、その相互関係を用いて具体的な問題を解けるようにする。 第2節 正弦定理・余弦定理 円周角の定理を利用することで正弦定理が導かれ、三平方の定理を一般化することで余弦定理が導かれることを理解させる。そして、	【指導事項】 ・2次方程式と2次不等式 ・三角比 【教材】 教科書：数研出版「最新数学Ⅰ」 補助教材：数研出版「3 ROUND数学Ⅰ」	【知識・技能】 授業内での発問 課題プリント 【思考・判断・表現】 定期考査 知識の有無に関わらず、問の本質を見抜けているかどうか 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内での発問 課題プリント 理解できなかったとき質問が出来る	○	○	○	13

	これらの定理を活用し三角形に関する辺や角を求める問題が解けるようにする。						
	定期考査			○	○	1	
3 学 期	第5章 データの分析 一見特徴のない単なる数値的なデータについても、各代表値や散らばり度合い、データの相関を見ることで、その特性が見えることを理解させる。また、なるべく多くのデータを扱うことで、それらの扱い・処理に慣れる。	【指導事項】 ・正弦定理、余弦定理 ・データの分析 【教材】 教科書：数研出版「最新数学Ⅰ」 補助教材：数研出版「3 ROUND数学Ⅰ」	【知識・技能】 授業内での発問 課題プリント 【思考・判断・表現】 定期考査 知識の有無に関わらず、問の本質を見抜けているかどうか 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内での発問 課題プリント 理解できなかったとき質問が出来る	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
							合計 70

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 数学科 科目 数学Ⅰ

教科：数学科 科目：数学Ⅰ 単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 1組～4組

使用教科書：（最新数学Ⅰ（数研出版））

教科 数学科 の目標：

【知識及び技能】問題を正確に理解し、定義や定理等をもとに式を立てることで適切に計算できる。

【思考力、判断力、表現力等】公式を暗記して計算するだけでなく、その式の成り立ちについて理解している。

【学びに向かう力、人間性等】授業に積極的であり、家庭学習用の課題についても意欲的に取り組んでいる。

科目 数学Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、二次関数、図形と計量、集合と命題、データの分析について、基礎的な知識の習得を目指し、それを活用する力を身に付ける。	数と式、二次関数、図形と計量、集合と命題、データの分析について、事象を数学的に考察する能力や、式の成り立ちについて理解し、またそれを説明できる。	数と式、二次関数、図形と計量、集合と命題、データの分析について、興味・関心をもてるとともに、課題に対しても積極的に取り組める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章 数と式 第1節 数と式 多項式の加法、減法、乗法の計算ができるようにする。また因数分解についても簡単なものから思考力を必要とするような問題まで扱えるようにする。 第2節 実数 有理数、無理数の定義を理解させるとともに、有理数である循環小数を分数表記に変換できるようにする。また、根号のを含む式の加法、減法、乗法さらに分母の有理化ができるようにする。	【指導事項】 ・数と式 ・実数 【教材】 教科書：数研出版「最新数学Ⅰ」 補助教材：数研出版「3 ROUND数学Ⅰ」	【知識・技能】 授業内での発問 課題プリント 【思考・判断・表現】 定期考査 知識の有無に関わらず、問の本質を見抜けているかどうか 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内での発問 課題プリント 理解できなかったとき質問が出来る	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1
	第1章 数と式 第3節 1次不等式 1次不等式を解けるようにする。また、文章題を読み解き、1次不等式を立てられるようにする。 第2章 集合と命題 集合と要素の定義、集合同士の関係や、そこから導かれる法則などについて理解させる。さらに、集合で学んだ包含関係が命題の真偽を決定づける重要な役割を持つことについて考察させ、具体的な問題における真偽を判定できるようにする。さらには背理法を用いる証明問題にも取り組めるようにする。	【指導事項】 ・実数 ・1次不等式 ・集合 【教材】 教科書：数研出版「最新数学Ⅰ」 補助教材：数研出版「3 ROUND数学Ⅰ」	【知識・技能】 授業内での発問 課題プリント 【思考・判断・表現】 定期考査 知識の有無に関わらず、問の本質を見抜けているかどうか 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内での発問 課題プリント 理解できなかったとき質問が出来る	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1
2 学 期	第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ 代表的な点をいくつか取ることで、簡単な2次関数のグラフがかけられるようにする。また、一般の2次関数についても平方完成することで、グラフの概形が決まることを理解させる。そして、その平方完成の計算手法についても習得させる。 第2節 2次方程式と2次不等式 2次方程式・2次不等式と2次関数の関係性について考察できるようにする。そして、問題をグラフ的背景を踏まえて解くことができるようにする。	【指導事項】 ・命題 ・2次関数とグラフ 【教材】 教科書：数研出版「最新数学Ⅰ」 補助教材：数研出版「3 ROUND数学Ⅰ」	【知識・技能】 授業内での発問 課題プリント 【思考・判断・表現】 定期考査 知識の有無に関わらず、問の本質を見抜けているかどうか 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内での発問 課題プリント 理解できなかったとき質問が出来る	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
	第4章 図形と計量 第1節 三角比 三角比の定義を理解させる。また、三平方の定理を用いることで、三角比に関する相互関係が得られることを理解させ、その相互関係を用いて具体的な問題を解けるようにする。 第2節 正弦定理・余弦定理 円周角の定理を利用することで正弦定理が導かれ、三平方の定理を一般化することで余弦定理が導かれることを理解させる。そして、それらの定理を活用し三角形に関する辺や角	【指導事項】 ・2次方程式と2次不等式 ・三角比 【教材】 教科書：数研出版「最新数学Ⅰ」 補助教材：数研出版「3 ROUND数学Ⅰ」	【知識・技能】 授業内での発問 課題プリント 【思考・判断・表現】 定期考査 知識の有無に関わらず、問の本質を見抜けているかどうか 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内での発問 課題プリント 理解できなかったとき質問が出来る	○	○	○	20

	を水める問題が勝けるようになる。						
	定期考査			○	○	1	
3 学 期	第5章 データの分析 一見特徴のない単なる数値的なデータについても、各代表値や散らばり度合い、データの相関を見ることで、その特性が見えることを理解させる。また、なるべく多くのデータを扱うことで、それらの扱い・処理に慣れる。	【指導事項】 ・正弦定理、余弦定理 ・データの分析 【教材】 教科書：数研出版「最新数学Ⅰ」 補助教材：数研出版「3 ROUND数学Ⅰ」	【知識・技能】 授業内での発問 課題プリント 【思考・判断・表現】 定期考査 知識の有無に関わらず、問の本質を見抜けているかどうか 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内での発問 課題プリント 理解できなかったとき質問が出来る	○	○	○	24
	定期考査			○	○		1
							合計
							105

年間授業計画

高等学校 令和5年度（1学年用）教科 理科 科目 科学と人間生活

教 科： 理科 科 目： 科学と人間生活 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（ 科人701 科学と人間生活（東京書籍） ）

教科 理科 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め、目的意識をもって観察、実験を行う。
- 【思考力、判断力、表現力等】自然の事物・現象に対する化学の基本的な概念や原理法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め、科学的に探究する能力と態度を育てる。

科目 科学と人間生活 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	自然の事物・現象を人間生活と関連付けて、問題を見出し、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど科学的に探究している。	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	序章 科学技術の発展 ・科学技術の歴史と発展 ・エネルギーや情報技術の発展 ・持続可能な未来のために 【知識及び技能】 科学技術の進歩が人間生活にどのような影響をもたらしたかを考え、科学技術が人間生活を豊かで便利にしてきたことや、人間生活に不可欠であることを理解する。 エネルギーや情報技術の発展について調べ、それらと科学技術との関わりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日常生活や社会、未来と、科学がどのようにつながっているのかを考える。 【学びに向かう力、人間性等】 科学技術の発展が今日の人間生活に貢献してきた反面、それによってもたらされた課題があることを知り、持続可能な社会をつくるための取り組みや自分たちにできる活動について調べ、レポートを作成したり発表したりする。	指導事項 ・オリエンテーション ・科学技術の流れ ・科学技術と生活の結びつき 教材 ・小テスト、ワークシート等	【知識・技能】 科学技術の発展が人間生活を豊かで便利にしてきたことや、現代の人間生活に科学技術が不可欠であることを理解している。 【思考・判断・表現】 科学技術が人間生活に果たす役割について、調べたことを基に考察し、表現している 【主体的に学習に取り組む態度】 科学技術と人間生活との関わりに関心をもち、資料を調べたり、友達と対話したりしながら、科学技術が果たす役割や課題について考えようとしている。	○	○	○	4
	第Ⅱ編 物質の化学 第2章 衣料と食品 第1節 衣料の化学 第2節 食品の化学 【知識及び技能】 植物繊維がセルロースから、動物繊維がタンパク質からできていることを理解する。 再生繊維や半合成繊維の原料と用途について理解する。 油脂の構造と性質について理解する 炭水化物は糖類ともよばれ、単糖類、二糖類、多糖類に分類されることを理解する。 タンパク質の変性について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 さまざまな天然繊維の特徴と用途について理解し、それぞれがなぜその用途で利用されているのかを考える。 ふだんの食事にはどのような栄養が含まれているかを考え、体に必要な栄養素について問題を見いだす。 【学びに向かう力、人間性等】 植物繊維や動物繊維の利用とその製品の製造の例を通して、繊維に対する興味・関心を高める。 タンパク質の利用とその利用の例を通して、栄養に対する興味・関心を高める。	指導事項 ・身の回りのいろいろな繊維 ・有機繊維と無機繊維の特徴と有用性 ・食品に含まれる各栄養素のはたらき ・石鹸で汚れが落ちる仕組み ・炭水化物、タンパク質の変化 教材 ・小テスト、ワークシート等	【知識・技能】 血糖濃度を調節する仕組みについて理解している。 【思考・判断・表現】 既習の内容や生徒経験から問題を見出したり、データをもとに科学的に考察してる。 【主体的に学習に取り組む態度】 知識・技能の習得に向けて粘り強く取り組んでいる。ワークシート等の作成を通して自分の学習を調整しようとしている。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	第Ⅰ編 生命の科学 第1章 人の生命現象 第1節 人の視覚と光による影響 第2節 血糖濃度を調整する仕組み 第3節 体を守る免疫の仕組み 第4節 生命現象の大本となる遺伝子の働き 【知識及び技能】 ヒトの目の構造や免疫など体内に関することを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ヒトの体内環境の働きからインスリンや抗体濃度の変化等から働きについて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ヒトの生命現象に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。	指導事項 ・視覚の特徴 ・血統濃度の調整 ・免疫の仕組み ・DNAの遺伝情報 教材 ・小テスト、ワークシート等	【知識・技能】 ヒトの視覚が生じる仕組みについて理解している。 安全面や衛生面に留意して実習に取り組み、ブタの眼球について、スケッチや文章で適切に記録している。 炭水化物の消化と吸収や吸収されたグルコースの体内における流れ、血糖濃度について理解している。 免疫の仕組みとしての抗原抗体反応や免疫記憶、それらを利用した治療法について理解している。 DNAの構造や遺伝子とDNAとの関係について理解している。 ヒトの体内には多くの種類のタンパク質があり、それぞれ、生命活動に重要な役割を果たしていることを理解している。 【思考・判断・表現】 活動するためのエネルギー源として炭水化物に着目し、体内での炭水化物の利用に問題を見いだし、表現、	○	○	○	9

		現している。 一次応答と二次応答の血液中の抗体濃度の変化のグラフを読み取り，科学的に考察して，免疫記憶の利点を見だし， 表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 学んだことを生かして，体内時計を維持するための規則正しい生活の重要性について考えようとしている。 糖尿病を防ぐための生活習慣の重要性について考えようとしている。 転写と翻訳を経て体内でタンパク質がつくられる				
第Ⅲ編 光や熱の化学 第1章 光の性質とその利用 第1節 光の進み方とその基本的な性質 【知識及び技能】 光を中心とした電磁波の性質とその利用について，日常生活と関連付けて理解するとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 光の性質とその利用について，問題を	指導事項 ・光の進み方と基本的な性質 ・光の屈折と分散 教材 ・小テスト，ワークシート等 ・一人1台端末の活用 等		○	○	○	8

	見いだし見通しをもって観察，実験などを行い，人間生活と関連付けて，科学的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 光の性質とその利用に関する事物・現象に進んで関わり，科学的に探究しようとする態度を養うとともに，科学に対する興味・関心を高める。					
	定期考査			○	○	1
2 学期	第2節 目に見える光と色の見え方 第3節 目に見えない光とその利用 【知識及び技能】 光を中心とした電磁波の性質とその利用について，日常生活と関連付けて理解するとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 光の性質とその利用について，問題を見いだし見通しをもって観察，実験などを行い，人間生活と関連付けて，科学的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 光の性質とその利用に関する事物・現象に進んで関わり，科学的に探究しようとする態度を養うとともに，科学に対する興味・関心を高める。	指導事項 ・目に見える光と色の見え方 ・目に見えない光とその利用 ・分光器の作成 教材 ・小テスト，ワークシート等	【知識・技能】 赤外線や紫外線などの電磁波の種類と性質，それらの利用について人間生活と関連付けながら理解している 電波やX線，ガンマ線の性質とそれらの利用について，人間生活と関連付けながら理解している。 【思考・判断・表現】 さまざまな光源のスペクトルの観察結果を基に，光源による光のスペクトルの違いを見いだし，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 学んだことを生かして，赤外線や紫外線の日常生活への利用における長所と短所について多面的に考えようとしている。	○	○	11
	定期考査			○	○	1
	第Ⅳ編 宇宙や地球の科学 第1章 太陽と地球 第1節 太陽と月がもたらすリズム 第2節 太陽が動かす大気と水 【知識及び技能】 太陽などの身近に見られる天体の運動や太陽の放射エネルギーについて，人間生活と関連付けて理解するとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 太陽と地球について，問題を見いだし見通しをもって観察，実験などを行い，人間生活と関連付けて，科学的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 太陽と地球に関する事物・現象に進んで関わり，科学的に探究しようとする態度を養うとともに，科学に対する興味・関心を高める。	指導事項 ・太陽と月の周期による変化 ・太陽が動かす大気と水 ・潮位の変化と地球・月・太陽のつながり 教材 ・小テスト，ワークシート等	【知識・技能】 日，月，年という時間単位の定義や意味について，月や地球の運動と関連付けながら理解している。 潮の満ち干と月の引力との関係や太陽，地球，月の位置関係による潮位の変動の周期性，高潮による被害について理解している。 大気の大循環や海流が生じる仕組み，それらによって気候が形成される仕組みについて理解している。 【思考・判断・表現】 既習の内容や生活経験を基に，太陽の放射エネルギーに着目し，太陽の放射エネルギーと大気や気候との関わりに問題を見いだし，表現している。 熱帯低気圧や海水面の温度などの資料を基に，台風の発生場所や移動経路の特徴について科学的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 潮位の変化のグラフを分析したり，友達と対話したりしながら，潮位の変化に周期性があることに疑問をもったり，その理由を考えたりしようとしている。 易風や偏西風などの風と人間生活との関わりに関心をもち，主体的に調べて，考えようとしている。			12
	定期考査			○	○	1
3 学期	第1節 身近な自然景観の成り立ち 第2節 自然災害と防災 第Ⅴ編 課題研究 第1章 課題の設定と研究の進め方 第2章 研究の課題例 【知識及び技能】 微生物のはたらきについて，人間生活と関連付けて理解するとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 微生物とその利用について，問題を見いだし見通しをもって観察，実験などを行い，人間生活と関連付けて，科学的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 微生物とその利用に関する事物・現象に進んで関わり，科学的に探究しようとする態度を養うとともに，科学に対する興味・関心を高める。	指導事項 ・身近な自然の成り立ち ・山地、低地、火山の成り立ち ・自然災害（地震・火山・気象） ・防災 ・研究課題の設定 ・研究結果のまとめと分析 教材 ・ワークシート等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 自然や科学技術と人間生活との関わりについて，自らの課題研究を基に認識を深めている。 課題研究の内容や進め方などを振り返り，科学と人間生活との関わり方や科学的に探究する方法について認識を深めている。 【思考・判断・表現】 既習の内容や生活経験を想起し，自然や科学技術と人間生活との関わりについて課題を設定するとともに，仮説や調べる計画を立て，表現している。 自ら設定した課題について，得られた結果を基に，科学的に考察して結論を導き，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題研究に関心をもち，友達と対話しながら，進んで課題を設定し，どのように調べれば課題を解決することができるかを考えて計画を立て，表現しようとしている。	○	○	10
	定期考査			○	○	1
						合計
						70

高等学校 令和5年度（1 学年用） 教科		保健体育	科目	体育
教 科：	保健体育	体 育	科 目：	体 育
対象学年組：第 1 学年 1 組～	6 組	単位数：	2	単位
使用教科書：（ 大修館書店 現代高等保健体育 ）				
教科	保健体育	の目標：		
【知 識 と 及 び 技 能】	基礎的な動作の習得を目指し、運動の楽しさを実感させる			
【思考力、判断力、表現力等】	運動の特性を理解した上で、自分の出来ることを積極的に見出すことを目標とする			
【学びに向かう力、人間性等】	生涯体育につなげるための工夫ができることを目標とし、次年度につなげるようにする			

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
種目に応じた基本的な技術の習得と運動の楽しさを見出すことができる	各種目の特性を理解し、積極的に関わることができるように工夫することができる	次年度に向けて基本的な動作を確認し、生涯体育に結び付けることができる

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	記録の向上や勝敗を競う楽しさ、喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高める。記録に挑戦する気持ちと、安全性に配慮することを身に付ける。	オリエンテーション 基礎体力作り体づくり運動(12月まで)	【知識・技能】 基本的な動作や方法の理解 【思考・判断・表現】 補強運動の工夫 【主体的に学習に取り組む態度】 種目への積極的な参加	○	○	○	5
	ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作りだすなどの攻防を展開すること。ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの連携した動きによって空間への侵入などから攻防を展開すること。	ネット型対人 バドミントン・バレーボール ゴール型 サッカー	【知識・技能】 各種目の基本動作のチェック 【思考・判断・表現】 ゲームの運営 【主体的に学習に取り組む態度】 種目への参加態度と工夫	○	○	○	8
	実技テスト	各種目 基本動作	知識技能 各種目の動作テスト	○	○		2
	ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作りだすなどの攻防を展開すること。ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの連携した動きによって空間への侵入などから攻防を展開すること。	ネット型対人 バドミントン・バレーボール ゴール型 サッカー	【知識・技能】 基本的な動作や方法の理解 【思考・判断・表現】 補強運動の工夫 【主体的に学習に取り組む態度】 種目への積極的な参加	○	○	○	7
	陸上競技では、個人の目標に向かって基本動作を習得し、記録に挑戦する。 水泳では、基本動作の習得、4泳法の習得を目標に展開する。さらに、個人の記録にも挑戦できるように活動する。	陸上競技 (ハードル・高跳び) 水泳	【知識・技能】 礼法の正確性 基本動作の理 【思考・判断・表現】 対人動作の理解 【主体的に学習に取り組む態度】 作品制作への参加	○	○	○	8
	実技テスト	各種目 基本動作	知識技能 各種目の動作テスト	○	○		2
2 学 期	陸上競技では、個人の目標に向かって基本動作を習得し、記録に挑戦する。 水泳では、基本動作の習得、4泳法の習得を目標に展開する。さらに、個人の記録にも挑戦できるように活動する。	陸上競技 (ハードル・高跳び) 水泳	【知識・技能】 基本的な動作や方法の理解 【思考・判断・表現】 ゲームの運営 【主体的に学習に取り組む態度】 種目への積極的な参加	○	○	○	10
	ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作りだすなどの攻防を展開すること。ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの連携した動きによって空間への侵入などから攻防を展開すること。	ネット型対人 バドミントン・バレーボール ゴール型 サッカー	【知識・技能】 基本的な動作や方法の理解 種目の基本動作のチェック 【思考・判断・表現】 ゲームの運営・チームの役割の理解 【主体的に学習に取り組む態度】 種目への積極的な参加	各 ○	○	○	13
3 学 期	自己のスピードを維持できるフォームでベースを守りながら、一定の距離を走りとおし、タイムを短縮したり競争したりできるようにする。 ボール操作と空間に走りこむなどの動きによってゴール前での攻防を展開する。 空間認知能力を高め、ラリーを続けることができるようになる。	個人 陸上競技(短距離) 個人 ネット 陸上競技(長距離) 型対人 卓球	【知識・技能】 基本的な動作や方法の理解 【思考・判断・表現】 フォームの研究 【主体的に学習に取り組む態度】 記録への挑戦	○	○	○	10
	自己のスピードを維持できるフォームでベースを守りながら、一定の距離を走りとおし、タイムを短縮したり競争したりできるようにする。 ボール操作と空間に走りこむなどの動きによってゴール前での攻防を展開する。 空間認知能力を高め、ラリーを続けることができるようになる。	個人 陸上競技(短距離) 個人 ネット 陸上競技(長距離) 型対人 卓球	【知識・技能】 基本的な動作や方法の理解 【思考・判断・表現】 フォームの研究 【主体的に学習に取り組む態度】 記録への挑戦	○	○	○	5
							合計 70

年間授業計画

高等学校 令和5年度（1 学年用） 教科

保健体育 科目 保健

教 科： 保健体育科

科 目： 保健

単位数： 1 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 4 組

使用教科書：（大修館書店 現代高等保健体育

）

教科 保健体育

の目標：

【知識及び技能】 健康で安全な生活を送るために必要な知識と取り組みを理解させる

【思考力、判断力、表現力等】 自分自身の健康と周りの人々の健康について具体的に課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し、正しく行動できるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 最新の知識を習得し、生涯を通じて自他の健康の保持増進を目指し豊かで活力のある生活態度を養うようにする。

科目 保健

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
単元の課題とその要因について、個人および社会生活や事例などと比較、分類、分析する	それぞれの単元についての理解を深め自分の生活に取り入れるべき事柄を見つけられる	それぞれの単元についての理解を深め積極的に学ぼうという姿勢。人間としての側面について思いやりを持って学習することができる

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	健康の考え方	わが国における健康水準の変化、わが国における健康問題の変化について理解し、説明することができる。健康についての多様な考え方、健康の成り立ちとその要因について理解し、説明することができる。	【知識・技能】 健康の成り立ちとその要因について、個人および社会生活や事例などと比較、分類、分析する 【思考・判断・表現】 健康についての理解を深め自分の生活に取り入れるべき事柄を見つけられる 【主体的に学習に取り組む態度】 健康についての理解を深め自分の生活に取り入れるべき事柄を見つけられる	○	○	○	4
	生活習慣病の予防 運動・食事・休養と健康	健康的な食生活の重要性と意義、健康的な食生活習慣の形成について理解し、説明することができる。健康からみた運動の意義、健康づくりのための運動習慣の形成について理解し、説明することができる。健康からみた休養・睡眠の意義、健康からみたよりよい休養・睡眠のとり方について理解し、説明することができる。	【知識・技能】 健康的な食生活習慣、運動習慣の形成、よりよい休養・睡眠のとり方について理解し生活改善に反映させる具体的方策を作成する。【思考・判断・表現】 生活を改善する方法を実践できるようにする【主体的に学習に取り組む態度】 レポート作成	○	○	○	4
	喫煙・飲酒・薬物乱用と健康	喫煙の健康影響、喫煙開始の要因と依存性、日本や世界におけるたばこ対策について理解し、説明することができる。飲酒による健康への短期的および長期的影響、飲酒の開始要因と社会問題、飲酒による健康被害を防ぐさまざまな対策について理解し、説明することができる。	【知識・技能】 飲酒・喫煙・薬物乱用の課題解決についてのグループ学習 【思考・判断・表現】 それぞれの課題を発見し、問題提起ができる 【主体的に学習に取り組む態度】 グループ学習	○	○	○	3
	精神疾患の予防	感染症予防の原則、現代の感染症についての社会と個人に分けた対策について理解し、説明することができる。性感染症・エイズとは何か、性感染症・エイズについての個人と社会に分けた予防対策について理解し、説明することができる。	【知識・技能】 エイズとHIVの関係、性感染症・エイズの予防法について個人と社会に分けた対策について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、グループで発表 【思考・判断・表現】 感染症についての対策について、現状にはめて考えをまとめることができる【主体的に学習に取り組む態度】 グループ学習 レポート作成	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
2 学 期	生活習慣病の予防	健康的な食生活の重要性と意義、健康的な食生活習慣の形成について理解し、説明することができる。健康からみた運動の意義、健康づくりのための運動習慣の形成について理解し、説明することができる。健康からみた休養・睡眠の意義、健康からみたよりよい休養・睡眠のとり方について理解し、説明することができる。	【知識・技能】 (1)健康的な食生活習慣、運動習慣の形成、よりよい休養・睡眠のとり方について理解し生活改善に反映させる具体的方策を作成する 【思考・判断・表現】 生活を改善する方法を実践できるようにする 【主体的に学習に取り組む態度】 グループ学習 レポート作成	○	○	○	4
	感染症と予防	感染症予防の原則、現代の感染症についての社会と個人に分けた対策について理解し、説明することができる。性感染症・エイズとは何か、性感染症・エイズについての個人と社会に分けた予防対策について理解し、説明することができる。	【知識・技能】 (1)エイズとHIVの関係、性感染症・エイズの予防法について個人と社会に分けた対策について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、グループで発表 【思考・判断・表現】 感染症についての対策について、現状にはめて考えをまとめることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 グループ学習レポート作成	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	現代の感染症	感染症予防の原則、現代の感染症についての社会と個人に分けた対策について理解し、説明すること	【知識・技能】 (1)エイズとHIVの関係、性感染症・エイズの予防法について個人と社会に分けた対策について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、グループで発表				

3 学 期		ができる。性感染症・エイズとは何か、性感染症・エイズについての個人と社会に分けた予防対策について理解し、説明することができる。	【思考・判断・表現】 感染症についての対策について、現状にはめて考えをまとめることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 グループ学習レポート作成	○	○	○	4
	健康に関する意思決定行動選択	現代社会の健康問題を、諸外国や過去の日本との比較から現在の日本の健康水準をとらえるようにする。生活習慣病や心の健康問題、高齢化社会が社会に与える影響についても理解できるようにする。	【知識・技能】(1)健康の成り立ちとその要因について、個人および社会生活や事例などと比較、分類、分析する 【思考・判断・表現】健康についての理解を深め自分の生活に取り入れるべき事柄を見つけられる 【主体的に学習に取り組む態度】グループ学習レポート作成	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
							合計 35

高等学校 令和5年度（1学年用）教科 芸術 科目 音楽Ⅰ
 教科：芸術 科目：音楽Ⅰ 単位数：2 単位
 対象学年組：第 1 学年 1 組～ 4 組
 使用教科書：（ 教育芸術社 MOUSA1 ）
 教科 芸術 の目標：

【学びに向かう力、人間性等】音楽や音楽文化と関わり、主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
音楽から換気されるイメージと音楽の構造との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした創作表現をするために必要な音楽を形づけている要素の働きを変化させ演奏する技能を身につける。	メロディを知覚し、その働きを感受しながら、どのような音楽を表現し、音楽に対する価値について考え、音楽のよさや美しさを感じながら表現したり聴いたりする。	旋律の変化と雰囲気の変化との関わりに関心をもち、主体的・協働的に創作や鑑賞活動に取り組むとともに、音楽に対する感性を育み、音楽を愛好する心情を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創						
1 学 期	①発声方法と歌唱表現を身につけて、豊かな表現で歌う。 ②楽譜の読み方・書き方をまなび、読譜力を身につける。	・ベルカント唱法を基本とした発声練習 ・校歌・独唱曲・合唱曲の表現方法 ・楽典 楽譜の正しい読み方書き方を身につけて表現を生かすようにする。	○			○	観察 課題 学習プリント	○	○	○	6
	①外国語の発音や特徴を理解し、歌詞の内容や曲調にあった表現を身につける。 ②鑑賞をとおして音楽の諸要素を理解して音楽のよさを理解する。	・芸術歌曲の表現方法 イタリア歌曲の性格を捉え、表現方法について学び歌う。 ・イタリア音楽について理解し、歴史・言語も学びながら楽曲を鑑賞する。	○			○	観察 課題 学習プリント 小テスト	○	○	○	10
	①器楽合奏を通して曲にふさわしい奏法や技術を身につける。	ギターの正しい奏法を身につけて、演奏の基本を学び、TAB譜を見ながらギター演奏をする。		○			観察 課題 学習プリント 実技試験	○	○	○	10
	①リズム合奏を通してリズムパターンを覚えていろんなリズムを理解する。	豊かな音色になるよう、様々な打楽器を組み合わせで演奏し、アンサンブルを楽しみながら合奏する。		○			観察 課題 学習プリント 確認テスト	○	○	○	6
2 学 期	①合唱を通して美しいハーモニーを感じながら歌唱する。	・ハーモニーを感じながら合唱する。 ・ハーモニーを楽しみながらパートに分かれて歌唱練習をする。 ・美しい発音で、歌詞の内容や背景を理解し、情景を思い浮かべながら歌唱表現を工夫する。	○				観察 課題 学習プリント 実技試験	○	○	○	10
	①器楽アンサンブルを通して、曲調や特徴を理解して自分なりの表現で演奏をしよう ②創作を楽しもう。	・曲調にふさわしい表現になるよう工夫をする。 ・音楽の特徴を生かしながらアンサンブルをする。 ・イメージにあった創作工夫を生かして表現できるよう音楽理論を理解した上で創作活動を行う。		○	○		観察 課題 学習プリント 確認テスト	○	○	○	10
3 学 期	①絵本の主題歌を作ってみよう。	・絵本を選んで、内容に合った歌詞とメロディを考え、自分が表現したい世界感を楽譜で表現する。自己のイメージをもって創意工夫して音楽をつくる。				○	観察 課題 学習プリント 作品発表	○	○	○	10
	①伝統音楽の鑑賞をとおして文化的背景・歴史的背景を学ぶ。	・雅楽・能・箏曲・尺八など、さまざまな日本の伝統音楽について学び、楽曲を鑑賞しながら伝統音楽への理解を深める。				○	観察 課題 学習プリント 確認テスト	○	○	○	8 合 計 70

年間授業計画

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 芸術 科目 書道Ⅰ

教 科： 芸術 科 目： 書道Ⅰ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 4 組

使用教科書：（ 光村図書 「書Ⅰ」 ）

教科 芸術 の目標：

【知 識 及 び 技 能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付ける

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数		
			漢 仮	漢	仮								
1 学 期	単元「書写から書道へ」 ◎小・中学校国語科書写で学習した、基本的な知識・技能を確認させる。 単元「様々な書体の変遷、臨書とは」 ◎古典の臨書を通して技法を学び、表現に生かす学習方法について理解させる。	① 筆使い、筆順、字形、配列など小・中学校の国語科書写で学習した内容を確認する。 ②漢字には五つの書体があること、それぞれの書体の成立過程と、その歴史的背景、字形や線質の特徴を理解する。				○	○			○	○	8	
	単元「文字の造形を学ぶ【楷書】」 単元「あなたは、どの楷書が好き？」 ◎日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書体の変遷、各書体に特有の字形や線質の特徴について理解する。	①A～Dのグループの文字を比較し、自分が好きなものを選ぶ。 ②その文字を選んだ理由や受ける印象を自由に話し合う。 ③選んだ文字ごとにグループを作り、自分が受けた印象は、文字を形成するどの要素から感じ取れるかを話し合う。				○	○			○	○	○	4
	単元「唐の四大家に学ぶ楷書の基本」 ◎楷書の古典「孔子廟堂碑」「九成宮醴泉銘」「雁塔聖教序」「顔氏家廟碑」「牛橛造像記」の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。	①唐の四大家の人物や政治的立場など、その人物像を理解する。 ②初唐の三大家と太宗の関係について理解する。 ③唐の四大家の代表作を知り、書道史において果たした役割や位置づけに関連づけて理解する。				○	○			○	○	○	10
	単元「文字の造形を学ぶ【行書】」 ◎行書の古典「蘭亭序」「争坐位文稿」「蜀素帖」「風信帖」の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。	①行書の成立過程や通行書体としての性質を再確認し、行書を楷書と比較して、点画の丸み、連続・省略などの特徴を理解する。 ②「蘭亭序」を鑑賞し、抑揚を利かせた用筆や、筆脈により自在に変化する文字の姿を感じ取る。				○	○			○	○	○	10
2 学 期	単元「文字の造形を学ぶ【草書／隷書／篆書】」 ◎草書、隷書、篆書の古典「真草千字文」「曹全碑」「泰山刻石」の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。	①草書／隷書／篆書の成立過程や通行書体としての性質を再確認する。 ②それぞれの古典が作られた経緯や書風について理解する。 ③学習のめあてと、成立・特徴を確認し、観賞・臨書を通し、点画や線質の特徴を理解する。				○	○			○	○	○	8
	単元「漢字の創作」「古典を生かした創作」 ◎漢字の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身につける。	①創作の手順を理解し、書く言葉を決め、表現のイメージを明確に持つ。 ②これまでに学んだ古典を参考にしながら作品の構想を練り、書体や書風、用具・用材、全体構成を考える。 ③試作を重ね、表現を工夫する。落款を入れ、作品を仕上げる。作品を鑑賞し合い、学習の成果を交流する。				○	○			○	○	○	10
	単元「仮名の成立と種類、仮名の筆使い」「平仮名」「変体仮名」	①漢字の伝来から仮名の成立に至る過程で段階的に発生した仮名の											

3 学 期	◎仮名の古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質や字形を生かした表現をするための技能を身につける。 ◎仮名の古筆「蓬萊切」「高野切第三種」にて書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。	種類を理解する。 ②臨書する部分を観察し、意連・形連のしかたや筆脈の流れ、墨継ぎの場所を確認する。伸びやかな用筆・運筆を意識して臨書する。	○	○	【思考・判断・表現】仮名の古筆の価値とその根拠について考え、書の高さや美しさを味わって捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】主体的に仮名の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	単元「漢字仮名交じりの書」「好きな言葉を書こう」 ◎漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫する。	①漢字仮名交じり創作の手順を理解し、表現のイメージを明確にもつ。 ②これまでに学んだ古典を参考にしながら作品の構想を練り、書体や書風、用具・用材、全体構成を考える。 ③試作を重ね、表現を工夫する。落款を入れ、作品を仕上げる。作品を鑑賞し合い、学習の成果を交流する。	○	○	【知識・技能】線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、漢字仮名交じり文の成立について理解している。 【思考・判断・表現】創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書の高さや美しさを味わって捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている	○	○	○	合計 70

年間授業計画

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科		芸術	科目	美術
教 科：	芸術	科 目：	美術	単位数： 2 単位
対象学年組：第 1 学年 1 組～ 4 組				
使用教科書：（「高校生の美術Ⅰ」（日本文教出版））				
教科	芸術	の目標：		
【知 識 及 び 技 能】		芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。		
【思考力、判断力、表現力等】		創造的な表現を工夫したり、芸術の良さや美しさを深く味わったりすることができるようにする。		
【学びに向かう力、人間性等】		生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。		
科目	美術	の目標：		
【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。		造形的な良さや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。		主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			絵・ 彫	デ	映						
1 学 期	・表現/絵画「鉛筆デッサンと各種技法による考察」 【知識及び技能】 道具の使用法、課題に沿った技法を活用する力を育てる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分が意図したコンセプトを表現するため、学んだ技法を創意工夫して使用できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 学んだこと技術や表現方法、鑑賞で得た他者の工夫点などを参考に、今後の「表現」についての自身の引き出しを増やすようにする。	・指導事項：鉛筆デッサン、ワークシート・技法を使用した課題制作 ・教材：スケッチブック、デッサン用鉛筆、カッター、絵の具、身近な道具（スポンジや紙コップ等）	○				・課題に取り組む意義や目的を理解し、計画的に制作に取り組むことができるか。・道具の使用法を適切に理解しているか・学んだ技法を生かし、且つ、自分の意図する表現ができるよう工夫しているか。・創意工夫をして表現できているか。	○	○	○	14
	・表現/絵画・デザイン「エコバックのプリントの作成」（指導目標は上記と同じ）	・指導事項：前半で学んだ技法を生かして「エコバックのプリント面をデザインする」生活を豊かにするデザインのコンセプトを考え、提出日までに完成する計画を立てる。 ・教材：スケッチブック、絵の具、身近な道具（スポンジや紙コップ等）、エコバック	○	○			・道具の使用法、課題の目的を適切に理解しているか・デザインのコンセプトを各自で考え、表現できているか・自分で考えたコンセプトを伝えるためのデザインや技法を創意工夫できているか。	○	○	○	10
	・鑑賞「作品講評会」（指導目標は上記と同じ）	指導事項：エコバックを元に講評会をし、各自がたてたコンセプトに則した表現ができているか客観的に判断する。 ・教材：作品「エコバック」				○	・自分が意図したコンセプトに沿ったデザインで表現できているか・自分の考えを伝えるために適した言語化ができているか・自分の作品を主体的に紹介したり、他人の意見を今後に活かせる工夫ができているか。	○	○	○	2
2 学 期	・表現/絵画・デザイン「スケッチブックの表紙作成」 【知識及び技能】 コラージュや樹脂粘土、エポキシ樹脂などの技法を学び、表現方法の多様性を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 「自分らしさ」や「季節」をテーマにすることで、それらについて深く考察する機会を得て、且つ、それらを「表現すること」についての意義を知る。 【学びに向かう力、人間性等】 授業経験を経て、身の周りのデザインに込められた作者の意図や工夫にも目を向け、自身の人生を豊かにする参考に取り入れる力を育む。	・指導事項：ワークシートや小課題の提出による技法の習得を参考に、「自分らしさ」をテーマに各自のスケッチブック表紙を作品として装飾する ・教材：スケッチブック、色紙、コラージュ用写真や小物	○	○			・学んだ技法を効果的に使用し、表現できているか。・「自分らしさ」をテーマにした場合、自分と向き合い、装飾表現として意匠化できているか。・「自分らしさ」とは何かについて考え、客観的にデザインとして表す創意工夫をしているか。	○	○	○	10
	・表現/立体・デザイン「季節を感じる」マグネットブック制作（指導目標は上記と同じ）	・指導事項：生活にユーモアや季節感を感じる道具をデザインするとともに、モチーフを観察し立体的に再現する力もつける。 ・教材：樹脂粘土、エポキシ樹脂セット、絵の具、やすり	○	○			・日本の四季をモチーフにして立体再現を前提とした制作計画が立てられるか。・「日本の季節感」をどう表現するか。・立体が苦手な生徒は「単純な形」のモチーフを選びがちだが、より複雑な形に挑んだり、創意工夫した表現に挑んだか。	○	○	○	14
	・鑑賞「作品講評会」（指導目標は上記と同じ）	・指導事項：コンセプトに沿って表現ができたか、学んだ技法をどう生かしたかなどを発表し、お互いの作品を鑑賞することで「作品に込められた作者の思い」についても考える。 ・教材：作成したスケッチブック表紙、樹脂ブック				○	・自分が意図したコンセプトに沿ったデザインで創意工夫、表現ができているか・自分の考えを伝えるために適した言語化ができているか・自分の作品を主体的に紹介したり、他人の意見を今後に活かせる工夫ができているか。	○	○	○	2

3 学 期	・表現/映像「アニメーション」制作・撮影・編集 【知識及び技能】映像表現の技法や効果を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】視覚や聴覚に訴える映像独自の表現を学び、自己表現の幅を広げる。 【学びに向かう力、人間性等】映像による自己表現が気軽に発信できるようになった現代において、自身の人生を豊かにするひとつのツールとしてどう生かしていくか、創意工夫する力を育む。	・指導事項：映像表現について、技法や制作過程を知り、そのうちの一つの手法を使って実際に短編アニメーション制作に取り組む。 ・教材：小道具、タブレット端末				○	・映像表現で一番視聴者に訴えたい場面はどこかを目的意識をもって計画でき、また計画通りに進められたか。・効果的な映像にするために自分の得意分野（立体やイラスト、単に撮影のみ、等）を生かしたか。・自分の得意分野を把握し、積極的に使用した計画が立てられたか。・提出期限内に完成度をあげた作品を仕上げる工夫ができたか。	○	○	○	16
	・鑑賞「作品講評会」（指導目標は上記と同じ）	・指導事項：意図した通りに映像表現ができたか、創意工夫した点など、客観的に鑑賞して意見交換する。 ・教材：自分が作成したアニメーション・プロジェクター				○	・自分が意図したコンセプトに沿った創意工夫で映像表現ができているか・自分の考えを伝えるために適した言語化ができているか・自分の作品を主体的に紹介したり、他人の意見を今後活かせる工夫ができているか。	○	○	○	2
											合計
											70

高等学校 令和 5 年度（1 学年用） 教科 外国語		科目 英語コミュニケーション I	
教 科： 外国語	科 目： 英語コミュニケーション I	単位数： 3	単 位
対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 6 組			
使用教科書： （ 数研出版 COMET English Communication I ）			
教科 外国語		の目標：	
【知 識 及 び 技 能】		英語でのコミュニケーションに必要な英文法の基礎を習得する。	
【思考力、判断力、表現力等】		英語で相手の考えを理解し、自分の考えを円滑に伝えられるようにする。	
【学びに向かう力、人間性等】		相手と積極的に英語でコミュニケーションを図る意欲を育てる。	
科目 英語コミュニケーション I		の目標：	

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
基本的な表現や英文法の基礎を学習したうえで、読むことや書くことができるようになる。また、それらの表現を特に口頭で表現できる。	相手の理解度や距離を適切に図りながら、自分の考えを伝えることができる。練習や振り返りを通して自分自身で表現を遂行し、文章を組み立てることができる。	自分が見せる表現を使って、積極的にコミュニケーションを取ろうとする態度と、自ら学ぼうとする意欲を持つことができる。

[illegible]

年間授業計画

高等学校 令和5年度（1学年用）

教科 家庭

科目 家庭総合

教科 家庭

科目 家庭総合

単位数 4 単位

対象学年組 第 1 学年 1 組～ 4 組

使用教科書 （ 家庭総合 実教出版 ）

教科 家庭

の目標 生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】

人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、加齢・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭・衣食住、消費や環境などについて生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し実践を評価・改善し考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど生涯を見通して課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

科目 家庭総合

の目標 生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次の とおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭および福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付ける。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し実践を評価・改善し考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど生涯を見通して課題を解決する力を養う。	様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章 これからの人生について考えてみよう 【知識及び技能】ライフステージごとの特徴や課題を理解する。 【思考力・判断力・表現力等】自分の将来とこれからの社会について考えることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】自分の特徴や長所に気づき、人生を展望できるようにする。	1. 1年間の授業の進め方 2. これからの生き方をデザインさせる。 3. 1人一台端末の活用	【知識及び技能】自分自身について考えるワークシートや将来についてのレポートなどを通して、自分や人の一生について考えをまとめることができる。 【思考力・判断力・表現力等】人生のライフステージの特徴と課題について知り、自分の生活や将来について考えを深め、発表などを通じて考えを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】現在の自分のこと、将来の生活設計を考えることについて、意欲をもって取り組もうとしている。	○	○	○	12
	第2章 自分らしい生き方と家族 【知識及び技能】結婚、家庭、家族の意義や機能について理解する。 【思考力・判断力・表現力】労働の種類、またその意義について多面的に検討できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】労働を支える社会や地域をしくみを知ること、私たちがその一員であるという自覚をもつことができるようにする。	1. 社会の変化と家族の変化を学ばせる。 2. 家族の現状と課題を理解させる。 3. 1人一台端末の活用	【知識及び技能】青年期の課題である自立や男女平等と相互の協力、生活にかかわる労働の意義、家庭の多様化など、時代と共に変化する役割について理解できる。 【思考力・判断力・表現力等】図表などから家族の形や家庭のあり方や役割について変化した背景を読み取ることができ、考えを深め表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】男女共同参画社会など、現在の社会的状況について、興味をもって知ろうとする態度がある。	○	○	○	12
	定期考查			○	○		1
	第3章 子どもと関わる 【知識及び技能】子どもの誕生や心身の発達、食生活や衣生活、遊びについて理解を深める。 【思考力・判断力・表現力】育児を学ぶ意義について考える。 【学びに向かう力、人間性等】親子関係の課題を理解し、解決に向けてできることを考えることができる。	1. こどもを取り巻く地域と社会を課題を理解させる。 2. こどもの心身の発達と遊びの意義と役割を知らせる。 3. 親になるということの意味を考えさせる。 4. 1人一台端末の活用	【知識及び技能】子どもの心身の発達や子どもの生活、接し方、子どもを取り巻く人とのかわりなどの知識を身につけている。 【思考力・判断力・表現力等】子供と触れ合う体験学習や実践活動について、事前事後のまとめをパワーポイントを通して表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】子どもの生活について、積極的に子どものとかかわりながら理解しようとする。	○	○	○	12
	第4章 高齢者とかわる 【知識及び技能】高齢者の心身の特徴や生活を客観的に理解する。 【思考力・判断力・表現力】高齢期の心身の変化による生活行動の不安に気づき、改善する。 【学びに向かう力、人間性等】高齢者、高齢社会への理解を世界の動向からも深める。	1. 高齢者の理解と高齢社会・高齢福祉を知らせる。 2. 1人一台端末の活用	【知識及び技能】高齢社会の現状や高齢者の心身の特徴について理解し、日常生活の基本的な介助の方法を介助実習を通して身につけることができる。 【思考力・判断力・表現力等】高齢社会の現状や高齢者の生活を知ることにより、高齢者の自立した生活とは何か、自分の考えをまとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】介助実習においては、積極的に参加し、高齢者の現状を把握しようとしている。	○	○	○	12
	定期考查 ホームプロジェクト			○	○		2

2 学 期	第5章 社会とかかわる 【知識及び技能】個人や家庭生活を支える社会保障制度や社会福祉についての重要性を理解する。 【思考力・判断力・表現力】ボランティア活動に興味関心が持てるようにし、実際の活動につなげる。 【学びに向かう力、人間性等】将来に向けた課題に気づく。	1. 社会保障の必要性や意義、日本の制度を理解させる。 2. 1人一台端末の活用	【知識及び技能】社会福祉の意味、現在の社会福祉の状況、社会保障制度のしくみについて理解できる。 【思考力・判断力・表現力等】社会福祉や生涯を通しての社会保障制度の仕組みについて、現在の生活課題と関連させながら考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】生涯を通して支え合いのしくみについて意欲的に理解しようとしている。	○	○	○	12
	第6章 食生活をつくる 【知識及び技能】栄養素の種類と働きやそれぞれの栄養素が多く含まれる食品についての基礎的な知識を身につける。 【思考力・判断力・表現力】衛生と安全に配慮して、調理することができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】日本の食糧事情を解決するためにできることをみつける。	1. 栄養素の働きと食品の栄養を理解させる。 2. 食品の安全性を理解させ、選択する力を養わせる。 3. 調理実習 4. 1人一台端末の活用	【知識及び技能】食事の意義や役割、栄養・食品に関する科学的な知識や調理の技術を身につけ、それを実際の食生活に活かすことができる。 【思考力・判断力・表現力等】地域の食文化やそれが発展してきた背景について、情報収集を行い、まとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】食品と栄養、調理との関係において、科学的な視点をもって知識を深めようとしている。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		2
	第7章 衣生活をつくる 【知識及び技能】衣服が持つ機能や安全性についての知識を身につける。 【思考力・判断力・表現力】衣服素材の種類、繊維の種類と特徴、素材の性能について理解し、用途に応じた素材の選択ができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】日本の和服について理解する。	1. 衣服の素材や管理を理解させる。 2. 衣服をめぐるトラブルと表示の見方を知らせる。 3. 被服実習 4. 1人一台端末の活用	【知識及び技能】衣服の素材の種類や特徴について知識を身につけたり、不要となった衣類について、リサイクルに回す、作り変えるなど、実生活において実践することができる。 【思考力・判断力・表現力等】作成した作品を自分らしく表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】衣服実習において、製作活動に意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	17
	第8章 住生活をつくる 【知識及び技能】日本の住まいの変遷や生活様式などを理解する。 【思考力・判断力・表現力】住まいの生活空間の機能を理解し、空間の特徴や家族のイメージをすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】町の課題について自分なりに解決策を考えることができる。	1. 住まい、住環境の意味を理解させ、ライフスタイルに対応した間取りを考えさせる。 2. 住まいの安全や安心について知らせる。 3. 平面図実習 4. 1人一台端末の活用	【知識及び技能】日本の住まいや歴史、住まい方、家族構成やライフステージなどのかかりから、平面図を読み取ることができる。 【思考力・判断力・表現力等】住まいの管理方法について、適切な掃除や頻度を考え、判断することができる。 【学びに向かう力、人間性等】住まいの文化や機能、住空間の計画や住環境について関心を持ち、快適な住まいづくりに向けて意欲的にとりくもうとする。	○	○	○	15
定期考査			○	○		1	
3 学 期	第9章 消費行動を考える 【知識及び技能】契約や多様な販売方法や支払い方法、問題商法について理解する。 【思考力・判断力・表現力】資源や環境に配慮した生活スタイルについて考え、実行できる。 【学びに向かう力、人間性等】情報リテラシーを身につける大切さを理解する。	1. 情報化と消費生活の関係性を理解させ、消費者の権利を知らせる。 2. 契約と消費者信用について理解させる。 3. 1人一台端末の活用	【知識及び技能】消費行動における意思決定の家庭とその重要性について理解でき、また契約についての知識を身につけている。 【思考力・判断力・表現力等】多様化する販売方法や支払い方法について、問題点や解決策を考え、判断することができる。 【学びに向かう力、人間性等】自分が一消費者であることをじあつくし、消費行動や環境とのかかわりについて積極的に理解しようとする。	○	○	○	12
	第10章 経済的に自立する 【知識及び技能】家庭の収入や支出、予算生活の必要性について理解する。 【思考力・判断力・表現力】将来の生活設計とかかわらせて、長期の経済設計の必要性について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】家庭経済を国民経済、国際経済の関係性に気づく。	1. 収入と支出の管理について理解させ、貯蓄と家計管理を実践できる力を養わせる。 2. 1人一台端末の活用	【知識及び技能】家庭経済・国民経済などのしくみについて理解でき、短期・長期の経済計画に関わる実習を通して、経済的な側面から人生設計を組み立てることができる。 【思考力・判断力・表現力等】現在の経済社会と家計との官営を考えながら、家庭の収入・支出・預金などについて、適切な考えを持ち、判断ができる。 【学びに向かう力、人間性等】自分の経済的自立を考えながら、長期・短期の経済計画について意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
							合計
							140

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 家庭 科目 生活産業基礎

教 科： 家庭 科 目： 生活産業基礎 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 4 組

使用教科書： （ 生活産業基礎 実教出版 ）

教科 家庭 の目標： 家庭生活に関わる産業の見方・考え方を培い、実践的・体験的な学習活動を通して、生活の質の向上と社会の発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成する。

【知識及び技能】生活産業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生活産業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、より良い社会の構築を目指して自ら学び、生活の質の向上と社会の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 生活産業基礎 の目標： 家庭生活に関わる産業の見方・考え方を培わせるため、実践的・体験的な学習活動を行う。

衣食住、ヒューマンサービスなどに関する生活産業や関連する職業を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生活産業や関連する職業について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術・情報を収集・整理することができる。	生活産業や関連する職業に関する課題を発見し、生活産業を担う職業人として合理的かつ創造的に解決に向けて考察し、工夫する。	生活産業や関連する職業への関心を高め、適切な進路選択と専門性の向上を目指して自ら学び、生活産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	職業生活と自己実現 ・自立について考える ・働くということについて考える	・自立するために働く ・人生と職業生活 ・働くということへの理解 ・自分の生活と産業の繋がり	【知識・技能】 自立やライフステージについて理解している。 【思考・判断・表現】 働くことへの理解が深まっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 学んだ事を振り返り、総括出来ている。	○	○	○	7
	職業人に求められる力 ・社会人基礎力 ・チームコンセンサス	16歳の仕事塾講師によるグループワークを通して目標とする力を得る。 ・社会人基礎力とは ・チームコンセンサス ・1人1台端末の活用、ICTの活用	【思考・判断・表現】 グループワークにおける取り組み方と、授業後の振り返りを要求した提出物において評価する。		○	○	7
	食生活関連産業 ・ヒューマンサービス関連産業に特化してその内容と実態を学ぶ。	・食生活・ヒューマンサービス関連産業について ・保育士・栄養士になるためには（法律の概要） ・資格を生かして多様な働き方をしている職業人について調べる。 ・商品開発・サービス内容等を知る。。	【知識・技能】 資格取得とその手段について上級学校別の違いを理解している。 【思考・判断・表現】 消費者のニーズに対応した商品・サービスを提案、製作、提供するまでの過程における課題を発見し、解決に向けて考察し、レポート等を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 資格の違いとその取得方法、上級学校の種類を踏まえた上で高校で学ぶべき内容を主体的に考えている。専門学校、大学、短大を知り、自らの進路選択に当てはめて考察している	○	○	○	7
	スペシャリストになるための知識を得るため、上級学校の講師による講義を展開する。	・幼児教育・保育系の大学、専門学校等の出前授業の実施 ・栄養系の大学、専門学校等の出前授業の実施				○	7
	定期考査			○	○		1
2 学 期	社会人の心構えと働き方 ビジネスマナー	・仕事のルールと自己管理について ・ビジネスコミュニケーションの基本を学習する。 ・プレゼンテーションの効果的な方法を学習 ・訪問マナー、テーブルマナー・慶事や弔事のマナーを習得する。	【知識・技能】 ビジネスマナーや社会人の心構え、働き方について適切に収集・整理し、理解している。 【思考・判断・表現】 ロールプレイングによるビジネスシーンの再現ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ロールプレイングに対する態度が主体的であるか。	○	○	○	14
	外部講師による講演 職業社会の課題について情報を整理し、現状と今後について、具体的に考察することが出来る授業の展開	・仕事塾「右脳左脳」 ・食生活・栄養のスペシャリスト ・幼児教育のスペシャリストによる講義・演習を実施する。 ・1人1台端末の活用 ・ICTの活用		○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	現代を知る ・生活と文化 ・環境 ・教育 ・福祉 ・科学技術 ・政治経済	・生活産業に関する時事問題に取り組ませる。 副教材「現代を知る」「ノート」 1人1台端末の活用 ICTの活用	【知識・技能】 時事問題について基礎的な理解が出来ている。 【思考・判断・表現】 生活産業に関する課題についてまとめ、課題解決のための手段について考察ができています。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に講義内容をまとめ、社会問題を考察する姿勢がある。 生活産業や関連する職業への関心を高め、適切な進路選択と専門性の向上を目指して自ら学び、ライフスタイルの変化に対応した商品・サービスの提供について自ら学び、生活産業の振興や社会貢献に主	○	○	○	6
3 学 期	外部講師による講演 職業社会の課題について情報を整理し、現状と今後について、具体的に考察することが出来る授業の展開	・食生活・栄養のスペシャリスト・幼児教育のスペシャリストによる講義 ・1人1台端末の活用 ・ICTの活用	【主体的に学習に取り組む態度】 1年間の学びを網羅し、ライフスタイルや価値観の多様化に対応して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。			○	8
							合計
							70

年間授業計画

高等学校 令和5年度（1 学年用） 教科 情報 科目 情報Ⅰ

教科： 情報 科目： 情報Ⅰ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（ 図説 情報Ⅰ 実教出版 ）

教科 情報

の目標：

- 【知識及び技能】 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

科目 情報Ⅰ

の目標：

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身に付けているとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関りについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	序章 情報社会と私たち 【知識及び技能】 情報技術や情報社会について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 事例を考え、他者と意見交換し学びを深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 発問をしたり、自己評価を行い、自らを客観的に振り返る。	・既存の知識で情報社会、情報技術、情報社会における個人の責任について理解し、これからの深い学びに関心をもつことができるようにすること。 【教科書、ワークシート、端末】	【知識・技能】 ワークシートや補助資料をとおり、めあての学習項目を理解している。 【思考・判断・表現】 事例や例題を自身で考えたり、他者と意見交換し学びを深めようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートを効果的にまとめる、発問を行うことや、自己評価を行い、自らを客観的に振り返ることができる。	○	○		4
	1 章 情報社会と問題解決 【知識及び技能】 情報社会と問題解決、情報セキュリティについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 事例を考え、他者と意見交換し学びを深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 発問をしたり、自己評価を行い、自らを客観的に振り返る。	・「情報」や「問題」という言葉の定義を理解し問題を発見するとともに問題の明確化を行うことができるようにすること。 ・問題解決について理解するとともに、様々な解決法をとおり適切に活用できるようにすること。 【教科書、ワークシート、端末】	【知識・技能】 ワークシートや補助資料をとおり、めあての学習項目を理解している。 【思考・判断・表現】 事例や例題を自身で考えたり、他者と意見交換し学びを深めようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートを効果的にまとめる、発問を行うことや、自己評価を行い、自らを客観的に振り返ることができる。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	2 章 コミュニケーションと情報デザイン 【知識及び技能】 メディア、コミュニケーション、情報デザインについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 事例を考え、他者と意見交換し学びを深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 発問をしたり、自己評価を行い、自らを客観的に振り返る。	・メディアの特性、様々なコミュニケーション手段の方法、情報デザインの表現方法について学び、役立てようとする。 【教科書、ワークシート、端末】	【知識・技能】 ワークシートや補助資料をとおり、めあての学習項目を理解している。 【思考・判断・表現】 事例や例題を自身で考えたり、他者と意見交換し学びを深めようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートを効果的にまとめる、発問を行うことや、自己評価を行い、自らを客観的に振り返ることができる。	○	○	○	8
	3 章 情報とコンピュータ 【知識及び技能】 情報の表現方法、計算法、拡張子等について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 事例を考え、他者と意見交換し学びを深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 発問をしたり、自己評価を行い、自らを客観的に振り返る。	・情報について学ぶとともに、情報の表現、アナログ、デジタルについて理解するとともに情報のデジタル化についても理解しようとしていること。 【教科書、ワークシート、端末】	【知識・技能】 ワークシートや補助資料をとおり、めあての学習項目を理解している。 【思考・判断・表現】 事例や例題を自身で考えたり、他者と意見交換し学びを深めようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートを効果的にまとめる、発問を行うことや、自己評価を行い、自らを客観的に振り返ることができる。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
2 学 期	4 章 アルゴリズムとプログラミング 【知識及び技能】 アルゴリズムを理解し、プログラミングとの関係性を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 事例を考え、他者と意見交換し学びを深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 発問をしたり、自己評価を行い、自らを客観的に振り返る。	・アルゴリズムについて理解し、プログラミングの構造と紐づけて理解することができること。 【教科書、ワークシート、端末】	【知識・技能】 ワークシートや補助資料をとおり、めあての学習項目を理解している。 【思考・判断・表現】 事例や例題を自身で考えたり、他者と意見交換し学びを深めようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートを効果的にまとめる、発問を行うことや、自己評価を行い、自らを客観的に振り返ることができる。	○	○	○	6
	5 章 ネットワークと情報システム 【知識及び技能】 アルゴリズムを理解し、プログラミングとの関係性を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 事例を考え、他者と意見交換し学びを深めようとしている。	・ネットワークの仕組みの全般について理解している。情報システムのサービスや情報セキュリティについて理解していること。 【教科書、ワークシート、端末】	【知識・技能】 ワークシートや補助資料をとおり、めあての学習項目を理解している。 【思考・判断・表現】 事例や例題を自身で考えたり、他者と意見交換し学びを深めようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	8

学 期	【学びに向かう力、人間性等】 発問をしたり、自己評価を行い、自らを客観的に振り返る。		ワークシートを効果的にまとめる、発問を行うことや、自己評価を行い、自らを客観的に振り返ることができる。				
	定期考査			○	○		1
	＜実習＞ オフィスソフトの活用 ・文書作成ソフトの活用 ・表計算ソフトの活用	・オフィスソフトの役割を理解し、情報デザイン、データのまとめ分析方法について理解するとともに、文書作成ソフト、表計算ソフトにの活用ができること。 【教科書、ワークシート、デスクトップパソコン、端末】	【知識・技能】 使用するソフトウェアや機能について理解している。 【思考・判断・表現】 与えられた課題について、自ら考え取り組むことができる。他者と協力して物事を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 補助資料を効果的にまとめる、発問を行うことや、自己評価を行い、自らを客観的に振り返ることができる。	○	○	○	14
3 学 期	＜実習＞ オフィスソフトの活用 ・プレゼンテーションソフトの活用	・オフィスソフトの役割を理解し、プレゼンテーションについて理解するとともに、プレゼンテーションソフトを活用することができること。 【教科書、ワークシート、デスクトップパソコン、端末】	【知識・技能】 使用するソフトウェアや機能について理解している。 【思考・判断・表現】 与えられた課題について、自ら考え取り組むことができる。他者と協力して物事を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 補助資料を効果的にまとめる、発問を行うことや、自己評価を行い、自らを客観的に振り返ることができる。	○	○	○	5
	＜実習＞ プログラミング ・Scrachを活用したゲーム作り	・アルリズムとフローチャート、プログラミングについて理解するとともに、プログラミングをとおして論理的に学ぶことができること。 【教科書、ワークシート、デスクトップパソコン、端末】	【知識・技能】 使用するソフトウェアや機能について理解している。 【思考・判断・表現】 与えられた課題について、自ら考え取り組むことができる。他者と協力して物事を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 補助資料を効果的にまとめる、発問を行うことや、自己評価を行い、自らを客観的に振り返ることができる。	○	○	○	8
							合計 70

高等学校 令和5年度（1 学年用） 教科 家庭 科目 栄養

教科： 家庭 科目： 栄養 単位数： 1 単位

対象学年組：第 1 学年 5 組

使用教科書：（ 全国調理師養成施設協会 2 食品と栄養の特性 ）

教科 家庭 の目標： 家庭の生活の関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、生活の質の向上と社会の発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成する。

【知識及び技能】生活産業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生活産業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、より良い社会の構築を目指して自ら学び、生活の質の向上

と社会の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 栄養 の目標： 家庭の生活の関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、栄養面で健康の保持増進を担う職業人として必要な資質・能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
栄養素の機能と代謝、各ライフステージにおける栄養、労働・スポーツと栄養などについて体系的・系統的に理解するとともに関連する技術・情報を収集・整理することができる。	食生活の現状から栄養に関する課題を発見し、栄養面で健康の保持増進を担う職業人として合理的かつ創造的に解決に向けて考察し、工夫する。	栄養状態の改善の面から食生活の充実向上を目指して自ら学び、健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 人体と栄養 【知識及び技能】 エネルギー代謝、食物の摂取について理解し、関連する情報を集約・整理することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 食品成分表を活用した栄養価計算等を通し、栄養面で健康の保持増進を担うため考察し、工夫して表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 食物摂取と栄養への関心を高め、健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。	・エネルギー、三大栄養素、食塩の栄養価計算 ・食品成分表 ・電卓	A 人体と栄養 【知識及び技能】 エネルギー代謝食物の摂取について理解し、関連する情報を集約・整理している。 【思考力、判断力、表現力等】 食品成分表を活用した栄養価計算等を通し、栄養面で健康の保持増進を担うため考察し、表現を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 食物摂取と栄養への関心を高め、健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	B 栄養素の機能と代謝 【知識及び技能】 炭水化物について理解し、関連する情報を集約・整理することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 炭水化物の種類と生理機能、糖質と食物繊維の違いについて考察し、工夫して表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 炭水化物への関心を高め、健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。	・一人1台端末を活用した動画の視聴による理解度の向上	B 栄養素の機能と代謝 【知識及び技能】 炭水化物について理解し、関連する情報を集約・整理している。 【思考力、判断力、表現力等】 炭水化物の種類と生理機能、糖質と食物繊維の違いについて考察し、工夫して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 炭水化物への関心を高め、健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		2
2 学 期	A 人体と栄養 【知識及び技能】 エネルギー代謝、食物の摂取について理解し、関連する情報を集約・整理することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 食品成分表を活用した栄養価計算等を通し、栄養面で健康の保持増進を担うため考察し、工夫して表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 食物摂取と栄養への関心を高め、健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。	・アミノ酸スコアの計算 ・基礎代謝に関する計算 ・食品成分表 ・電卓	A 人体と栄養 【知識及び技能】 エネルギー代謝食物の摂取について理解し、関連する情報を集約・整理している。 【思考力、判断力、表現力等】 食品成分表を活用した栄養価計算等を通し、栄養面で健康の保持増進を担うため考察し、表現を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 食物摂取と栄養への関心を高め、健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	B 栄養素の機能と代謝 【知識及び技能】 脂質、たんぱく質について理解し、関連する情報を集約・整理することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 脂質、たんぱく質の種類と生理機能について考察し、工夫して表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 脂質、たんぱく質への関心を高め、健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	・一人1台端末を活用した動画の視聴による理解度の向上	B 栄養素の機能と代謝 【知識及び技能】 脂質、たんぱく質について理解し、関連する情報を集約・整理している。 【思考力、判断力、表現力等】 脂質、たんぱく質の種類と生理機能について考察し、工夫して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 脂質、たんぱく質への関心を高め、健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	8

	【学びに向かう力、人間性等】 脂質、たんぱく質への関心を高め、健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。		保持増進に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。				
	定期考査			○	○		1
	A 人体と栄養 【知識及び技能】 エネルギー代謝、食物の摂取について理解し、関連する情報を集約・整理することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 食品成分表を活用した栄養価計算等を通し、栄養面で健康の保持増進を担うため考察し、工夫して表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 食物摂取と栄養への関心を高め、健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。	・ 五大栄養素の栄養価計算 ・ 食品成分表 ・ 電卓	A 人体と栄養 【知識及び技能】 エネルギー代謝食物の摂取について理解し、関連する情報を集約・整理している。 【思考力、判断力、表現力等】 食品成分表を活用した栄養価計算等を通し、栄養面で健康の保持増進を担うため考察し、表現を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 食物摂取と栄養への関心を高め、健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
3 学 期	B 栄養素の機能と代謝 【知識及び技能】 ビタミン、ミネラルについて理解し、関連する情報を集約・整理することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ビタミン、ミネラルの種類と生理機能について考察し、工夫して表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ビタミン、ミネラルへの関心を高め、健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。	・ 一人1台端末を活用した動画の視聴による理解度の向上	B 栄養素の機能と代謝 【知識及び技能】 ビタミン、ミネラルについて理解し、関連する情報を集約・整理している。 【思考力、判断力、表現力等】 ビタミン、ミネラルの種類と生理機能について考察し、工夫して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ビタミン、ミネラルへの関心を高め、健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
				合計			
				97			

年間授業計画

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 家庭 科目 食品

教科： 家庭 科目： 食品 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 5 組

使用教科書：（ 全国調理師養成施設協会 2 食品と栄養の特性 ）

教科 家庭 の目標： 家庭の生活の関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、生活の質の向上と社会の発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成する。

【知識及び技能】生活産業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生活産業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、より良い社会の構築を目指して自ら学び、生活の質の向上

と社会の発展に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。

科目 食品 の目標： 家庭の生活の関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、多様化する食品を適切に選択、活用して食生活の向上を担う職業人として必要な資質・能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
食品の分類とその特徴、食品の機能、食品の表示、食品の加工と貯蔵などについて体系的・系統的に理解するとともに関連する技術・情報を収集・整理することができる。	食生活の現状から食品んんに関する課題を発見し、食品を適切に選択、活用して食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決に向けて考察し、工夫する。	適切な食品の選択や活用の面から食生活の充実向上を目指して自ら学び、食品のもつ機能の展開に主体的かつ協動的に取り組む態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	食品の特徴と性質 ◇植物性食品：米、小麦、とうもろこし、大麦、そば、燕麦について、理論的理解をする。 ◆動物性食品：魚介類について理論的理解をする。 【知識及び技能】 食品の分類とその特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 食品に関する課題を発見し、その解決に向けて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 食品のもつ機能の展開に主体的かつ協動的に取り組む。	・教科書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 植物性食品・動物性食品の特徴と性質を理解している。 【思考・判断・表現】 ワークシートに、植物性食品・動物性食品についてまとめている。 【主体的に学習に取り組む態度】 グループワークによる相互評価（班別実習がきちんとできている）	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	食品の特徴と性質 ◇植物性食品：いも、でんぷん類、砂糖、甘味類の種類と性質について、理論的理解をする。 ◆動物性食品：卵類、甲殻類と乳製品の性質と活用について理論的理解をする。 【知識及び技能】 食品の分類とその特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 食品に関する課題を発見し、その解決に向けて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 食品のもつ機能の展開に主体的かつ協動的に取り組む。	・教科書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 植物性食品・動物性食品の特徴と性質を理解している。 【思考・判断・表現】 ワークシートに、植物性食品・動物性食品についてまとめている。 【主体的に学習に取り組む態度】 グループワークによる相互評価（班別実習がきちんとできている）	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
2 学 期	食品の特徴と性質 ◇植物性食品：野菜類について、理論的理解をする。 ◆動物性食品：畜肉類について理論的理解をする。 【知識及び技能】 食品の分類とその特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 食品に関する課題を発見し、その解決に向けて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 食品のもつ機能の展開に主体的かつ協動的に取り組む。	・教科書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 植物性食品・動物性食品の特徴と性質を理解している。 【思考・判断・表現】 ワークシートに、植物性食品・動物性食品についてまとめている。 【主体的に学習に取り組む態度】 グループワークによる相互評価（班別実習がきちんとできている）				13
	定期考査			○	○		1
	食品の特徴と性質 ◇植物性食品：果実類について、理論的理解をする。 ◆動物性食品：乳類について理論的理解をする。 【知識及び技能】 食品の分類とその特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 食品に関する課題を発見し、その解決に向けて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 食品のもつ機能の展開に主体的かつ協動的に取り組む。	・教科書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 植物性食品・動物性食品の特徴と性質を理解している。 【思考・判断・表現】 ワークシートに、植物性食品・動物性食品についてまとめている。 【主体的に学習に取り組む態度】 グループワークによる相互評価（班別実習がきちんとできている）				14

	協働的に取り組む。					
	定期考査			○	○	1
3 学 期	食品の特徴と性質 加工品やし好品、その他の食品、食品の加工と貯蔵 【知識及び技能】 食品の分類とその特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 食品に関する課題を発見し、その解決に向けて考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 食品のもつ機能の展開に主体的かつ協働的に取り組むこと。	・教科書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 加工品などその他食品の特徴と性質や食品にあった加工方法・貯蔵法を理解している。 【思考・判断・表現】 ワークシートに、植物性食品・動物性食品についてまとめている。 【主体的に学習に取り組む態度】 グループワークによる相互評価（班別実習がきちんとできている）			15
	定期考査			○	○	1
						合計 70

高等学校 令和5年度（1学年用）

教科 家庭

科目 食文化

教科 家庭

科目 食文化

単位数 1 単位

対象学年組 第 1 学年 5 組

使用教科書 （ 全国調理師養成施設協会 4 調理理論と食文化概論 ）

教科 家庭

の目標 家庭の生活の関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、生活の質の向上と社会の発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成する。

【知識及び技能】

生活産業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

生活産業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

職業人として必要な豊かな人間性を育み、より良い社会の構築を目指して自ら学び、生活の質の向上と社会の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 食文化

の目標 家庭の生活の関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、食文化の伝承と創造を担う職業人として必要な資質・能力を育成する

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
食文化の成り立ちや日本と世界の食文化などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する情報を収集・整理することができる。	食生活の現状から食文化に関する課題を発見し、食文化の伝承と創造を担う職業人として合理的かつ創造的にその解決に向けて考察し、工夫する。	食文化の面から食生活の充実向上を目指して自ら学び、食文化の伝承と創造に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元 食文化の成り立ち 【知識及び技能】 自身の食事嗜好と、影響を与える要因について検証し、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 食の嗜好は、味などの食材のもつ特性のみならず、地域性、気温、宗教など様々な要因で決まるものだを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 宗教と食物禁忌（例えばハラールフード）について、主体的かつ協働的に調べたり、発表する。	・教科書 ・プリント ・食品成分表 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 「食文化とは何か」について理解している。 【思考・判断・表現】 食文化の成り立ちについて理解できている。 【学びに向かう力、人間性等】 自分自身や他者の食事嗜好、宗教と食物禁忌について考えたり、調べることで、多様な食文化への理解に、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	単元 日本の食文化 【知識及び技能】 日本の食文化について学び、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 調理実習で技術の習得をする献立に準じながら、和食の文化について理論的理解を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 郷土料理について自身で調べ学習を行い、まとめることで理解を深める。	・教科書 ・プリント ・食品成分表 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 日本料理の特徴を知り、食事の作法を理解している。 【思考・判断・表現】 日本料理の献立形式を理解し、どのような料理が当てはまるか分類できる。 【学びに向かう力、人間性等】 郷土料理についてまとめたり、作ったりすることで、日本の食文化の理解に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
2 学 期	単元 日本料理の食文化 【知識及び技能】 日本料理の歴史と食文化の形成について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 縄文時代から現代まで、人はどのような食生活をし生きてきたか理解を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 日本料理の食の様式を知り、会席料理や懐石料理など調理実習を通じマナーについて実践力を高める。	・教科書 ・プリント ・食品成分表 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 日本の食環境の変化を知り、食育の必要性について理解する。 【思考・判断・表現】 日本料理の献立形式を理解し、どのような料理が当てはまるか分類できる。 【学びに向かう力、人間性等】 食事のマナーを理解し、調理実習や実生活の中で、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	単元 西洋料理の食文化 【知識及び技能】 西洋料理の食文化の変化について学び、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 フランス料理、イタリア料理の献立構成について知り、理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 西洋料理のテーブルマナー、テーブルセッティングを学ぶ。実際の調理器具を用いて実践的に学習する。ナフキンの折り方について知る。	・教科書 ・プリント ・食品成分表 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 西洋料理に分類される国と料理名を把握し、どのように発達してきたかを知る。西洋料理のマナーとテーブルセッティングができ、数種類のナフキンが折れる。 【思考・判断・表現】 フランス料理、イタリア料理の献立構成について知り、理解し、テーブルマナーの場で実践しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 テーブルマナーやセッティングの意味を理解し、実習の場で主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1

3 学 期	単元 中国料理の食文化 【知識及び技能】 中国料理の食文化について学ぶ。中国の地方による食文化の違い、料理の種類の違いを知る。 【思考力、判断力、表現力等】 中国料理のテーブルマナー、テーブルコーディネートについて知る。 【学びに向かう力、人間性等】 中国料理の食器等に触れ、多様な食文化への理解を深めるために、調べ学習などにおいて主体的かつ協働的に取り組む態度を身に着ける。	・教科書 ・プリント ・食品成分表 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 中国料理の食文化を知り、特徴と系統を理解している。 【思考・判断・表現】 中国・アジアの料理の種類とマナーの背景を考察し、工夫して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 世界の料理についての調べ学習と発表において、多様な食文化を理解するために、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○
	定期考査			○	○	1
						合計
						35

高等学校 令和5年度（1 学年用） 教科 家庭 科目 調理

教 科： 家庭 科 目： 調理 単位数： 3 単位

対象学年組：第 1 学年 5 組

使用教科書：（ 全国調理師養成施設協会 5 調理実習 レシピ集 食品成分表 ）

教科 家庭 の目標： 家庭の生活の関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、生活の質の向上と社会の発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成する。

【知識及び技能】生活産業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生活産業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、より良い社会の構築を目指して自ら学び、生活の質の向上

と社会の発展に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。

科目 調理 の目標： 家庭の生活の関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、創造的に調理し、健康の保持増進に寄与する食生活の充実向上を担う職業人として必要な資質能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
調理の基礎、献立作成及び様式別調理などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	食生活の現状から調理に関する課題を発見し、調理を通して食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決に向けて考察し、工夫する。	調理の面から食生活の充実向上を目指して自ら学び、創造的な調理に主体的かつ協動的に取り組む態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	調理実習の心得 【知識及び技能】 実践的学習に向け、基本となる衛生的観念やルール、マナーを身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 衛生的な習慣を身に付け、常に衛生を保つよう心がける 【学びに向かう力、人間性等】 食中毒予防にはどのような衛生観念が必要かを知る	・教科書 ・プリント ・コックコート一式 ・包丁セット	【知識・技能】 調理の衛生と調理師としての心構えが理解出来ている 【思考・判断・表現】 身だしなみを整え、白衣を衛生的に着用出来ている 【主体的に学習に取り組む態度】 手指の洗い方など細心の注意を払い作業をすることが出来ている	○	○	○	21
	料理の基礎（切り方） 【知識及び技能】 料理により使用する包丁の特徴とだしの違いを知る 【思考力、判断力、表現力等】 日本料理と西洋料理、中国料理での切り方の違いと名称の違いを理解し、技術を身に付ける 【学びに向かう力、人間性等】 包丁を安全に使用し、食材を無駄にしない	・教科書 ・プリント ・コックコート一式 ・包丁セット	【知識・技能】 菜切り包丁と牛刀、中華包丁のが違いと基本となるだしの取り方を理解している 【思考・判断・表現】 千切り＝ジュリエヌ＝糸のように同じ切り方でも名称が違うことを理解し、切ることが出来る 【主体的に学習に取り組む態度】 包丁を適切に取り扱い、自分の包丁ケースで管理することが出来る	○	○	○	26
	定期考査			○	○		2
2 学 期	料理に用いるだし 【知識及び技能】 料理の種類ごとに混合だし、ブイヨン、湯の種類を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれのだしに用いる食材を理解する 【学びに向かう力、人間性等】 料理の種類ごとにだしの味を理解する	・教科書 ・プリント ・コックコート一式 ・包丁セット	【知識及び技能】 料理の種類ごとに混合だし、ブイヨン、湯の種類を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれのだしに用いる食材を理解している 【学びに向かう力、人間性等】 料理の種類ごとにだしの味を理解して、だしを取ることが出来る	○	○	○	26
	定期考査			○	○		2
	料理に用いる食材の下ごしらえ 【知識・技能】 料理に用いる食材の下ごしらえ方法を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 野菜、肉、魚により食材の下ごしらえ方が違うことを理解する 【学びに向かう力、人間性等】 食材の下ごしらえ方により、見た目は味に影響があることを知る	・教科書 ・プリント ・コックコート一式 ・包丁セット	【知識・技能】 料理に用いる食材の下ごしらえ方法を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 野菜、肉、魚により食材の下ごしらえ方が違うことを理解している 【学びに向かう力、人間性等】 食材の下ごしらえ方により、見た目は味に影響があることを理解している	○	○	○	26
	定期考査			○	○		2
				○	○		合計 105

高等学校 令和5年度（1 学年用） 教科 家庭 科目 調理理論

单位数： 1 单位

使用教科書：（ 全国調理師養成施設協会 5調理実習 レシピ集 食品成分表 ）

の目標： 家庭の生活の関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、生活の質の向上と社会の発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成する。

【思考力、判断力、表現力等】生活産業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、より良い社会の構築を目指して自ら学び、生活の質の向上と社会の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

の目標： 的に調理し、健康の保持増進に寄与する食生活の充実向上を担う職業人として必要な資質能力を育成する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	調理の基本操作 非加熱調理操作（計量、洗浄、浸漬、切碎、混合・かくはん） 【知識及び技能】 計量カップ・計量スプーンの使い方、料理により使用する包丁の違いを知る。 【思考力、判断力、表現力等】 調味料により計量の量や計り方の違いや、料理・食材によって包丁の切り方・使い方が違うことを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 計量が的確にでき、包丁を安全に使用し食材を無駄にしない。	・教科書 ・プリント	【知識・技能】 計量カップ・計量スプーン、包丁の使い方を正しく理解している。 【思考・判断・表現】 調味料により計量の量や計り方が違うことや、料理・食材により包丁の切り方や使い方が違うことを理解し、適切に使うことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 包丁を適切に取り扱い、自分の包丁ケースで管理することができる。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
2 学期	料理に用いるだし 【知識及び技能】 料理の種類ごとに混合だし、ブイヨン、湯の種類を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれのだしに用いる食材を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 料理の種類ごとにだしの味を理解する。	・教科書 ・プリント	【知識及び技能】 料理の種類ごとに混合だし、ブイヨン、湯の種類を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれのだしに用いる食材を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 料理の種類ごとにだしの味を理解して、だしを取ることが出来る。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
3 学期	料理に用いる食材の下ごしらえ 【知識・技能】 料理に用いる食材の下ごしらえ方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 野菜、肉、魚により食材の下ごしらえ方が違うことを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 食材の下ごしらえ方により、見た目は味に影響があることを知る。	・教科書 ・プリント	【知識・技能】 料理に用いる食材の下ごしらえ方法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 野菜、肉、魚により食材の下ごしらえ方が違うことを理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 食材の下ごしらえ方により、見た目は味に影響があることを理解している。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1 合計 35

年間授業計画

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 福祉 科目 こととからだの理解

教科：福祉 科目：こととからだの理解 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 6組～

使用教科書：（実教出版「こととからだの理解」 中央法規「こととからだのしくみ」）

教科 福祉 の目標：福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、福祉を通じ、人間の尊厳に基づく地域福祉の推進と持続可能な福祉社会の発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成する。

【知識及び技能】実践的・体験的な学習活動を行うことを通じて、介護を実践するために必要な技能を習得する。

【思考力、判断力、表現力等】専門的な知識の能力を活用し適切に判断し、専門用語を用いて表現することができる。

【学びに向かう力、人間性等】福祉の見方や考え方を働かせ、他者と共同して問題解決など学びに向かう積極性を習得する。

科目 こととからだの理解 の目標：福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、介護を実践するための人間に必要な資質・能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実践的・体験的な学習活動を通じて、介護技術を活用し、個々に応じた介護を安全に実践できる。	専門的知識を習得し、その能力を生かして状況に応じた言語的表現、及び学習活動を積極的に行うことができる。	他者との協働活動や演習を通じて他者理解を深め、個々の良さを認め合い、協働して学習活動を積極的に行うことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1. こととからだの理解 ①私たちの生活と健康 ②人間の欲求の基本的理解 ③動機づけ ④自己概念と尊厳 【知識及び技能】 健康の概念や人間の欲求、尊厳等について理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 介護従事者として必要な基本的なこととからだのしくみを理解し、適切に表現できる 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協働して積極的に学習に取り組める	・介護従事者として、健康をどのようにとらえるべきかを考え、自分の言葉で表現できるよう指導する。 ・人間の心とは何か、人間の欲求や尊厳と関連させながら考え理解させる。	【知識・技能】 教科書・視聴覚教材・学習プリント等を活用し積極的に学び知識を理解し、統合的に知識を活用する取り組み姿勢がある 【思考・判断・表現】 授業内で使用する学習プリント・ノートにおいて専門的な用語を用いて適切な表現を工夫できている 【主体的に学習に取り組む態度】 学習活動への参加状況と取り組み態度 他者と共同的に取り組んでいる	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	⑤思考・感情のしくみ ⑥学習・記憶のしくみ ⑦知能のしくみ ⑧適応と防衛機制 【知識及び技能】 人間の思考や学習・記憶、知能のしくみについて理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 人の心の動きやしくみを事例を通じて学習し、気づき適切な表現を用いて理解できる 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協働して積極的に学習に取り組める	・人間の心の働きやこととからだのしくみを事例や協働学習から学んで気がつき個々の個性を知り、他者理解を深め、介護従事者としての知識を得られるよう関連付ける。	【知識・技能】 教科書・視聴覚教材・学習プリント等を活用し積極的に学び知識を理解し、統合的に知識を活用する取り組み姿勢がある 【思考・判断・表現】 授業内で使用する学習プリント・ノートにおいて専門的な用語を用いて適切な表現を工夫できている 【主体的に学習に取り組む態度】 学習活動への参加状況と取り組み態度 他者と共同的に取り組んでいる	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
2 学 期	2. からだのしくみの理解 ①生命維持・恒常性のしくみ ②脳・神経系のしくみ ③運動器系のしくみ ④循環器系のしくみ 【知識及び技能】 ・介護に必要な基本的な身体機能を理解し活用できる ・介護を必要とする人の心身機能観察し、アセスメントを活用して適切な対応ができる知識を得られる 【思考力、判断力、表現力等】 脳・運動器系の機能を理解し、介護従事者として技能を活用できる 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に学習に取り組める	・人がどのようにして生命を維持し、心身の機能のバランスを保っているのかを学び、生きることと健康生活について学ぶ。 ・脳神経系のしくみを理解し、どのように人の思考や行動に影響するのか、要介護者へのアセスメントに用いる知識を得る	【知識・技能】 教科書・視聴覚教材・学習プリント等を活用し積極的に学び知識を理解し、統合的に知識を活用する取り組み姿勢がある 【思考・判断・表現】 授業内で使用する学習プリント・ノートにおいて専門的な用語を用いて適切な表現を工夫できている 【主体的に学習に取り組む態度】 学習活動への参加状況と取り組み態度 他者と協働的に取り組んでいる	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
	⑤消化器系のしくみ ⑥呼吸器系のしくみ ⑦感覚器系のしくみ ⑧内分泌系のしくみ 【知識及び技能】 食する、消化する、排泄する等の基本的な知識を身に付けることができ	・食する、呼吸する、など身体活動に関連した基本的な知識を得るとともに、書く機能の役割を学習し、アセスメントに必要な知識を身に付ける。 ・介護従事者として必要な知識と観察力、及び五感を生かし、対象の変化に気がつくこ	【知識・技能】 教科書・視聴覚教材・学習プリント等を活用し積極的に学び知識を理解し、統合的に知識を活用する取り組み姿勢がある 【思考・判断・表現】 授業内で使用する学習プリント・ノートにおいて専門的な用語を用いて適切な表				

	る 【思考力、判断力、表現力等】 身体のしくみや構造、働きについて適切に理解し、表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に学習に取り組める	とができるよう、事例や演習を通じて知識と技能を身に付ける。 ・内分泌や生命の維持・恒常性を理解し、適切にアセスメントでき、必要な支援を判断できるように奨励問題に取り組ませる。	現を工夫できている 【主体的に学習に取り組む態度】 学習活動への参加状況と取り組み態度 他者と共同的に取り組んでいる	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
3 学 期	⑨泌尿器系のしくみ ⑩生殖器系のしくみ ⑪血液・免疫系のしくみ 【知識及び技能】 身体の様々な機能をつかさどる内分泌系の機能について理解を深め、しくみを理解する 【思考力、判断力、表現力等】 内分泌系の構造と働きについて意図的な観察により適切に状態を考察できる 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に学習に取り組める	・尿の生成や排泄のしくみ、健康的な状態及び不健康時の対応について身体機能を鑑みて判断することができるように授業を展開する。 ・生活支援と健康状態、及び機能障害について関連付けて考察し、適切な支援を知識を基に分析して選択し、安全にかかわれる方法を考察することができるように、演習や事例を用いる。	【知識・技能】 教科書・視聴覚教材・学習プリント等を活用し積極的に学び知識を理解し、統合的に知識を活用する取り組み姿勢がある 【思考・判断・表現】 授業内で使用する学習プリント・ノートにおいて専門的な用語を用いて適切な表現を工夫できている 【主体的に学習に取り組む態度】 学習活動への参加状況と取り組み態度 他者と共同的に取り組んでいる	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
				○	○		合計
							70

対象学年組：第 1 学年 6 組

使用教科書：（中央法規 「介護実習・介護総合演習」 ）

教科 福祉 の目標：

- 【知識及び技能】介護従事者としての職業倫理及び基礎的・基本的意識と技能を習得する
- 【思考力、判断力、表現力等】各科目の学習で得た知識を生かし、対象者を適切にアセスメントして関与することができる
- 【学びに向かう力、人間性等】様々な対象者に対するコミュニケーションを積極的に図り、介護従事者に必要な人減関係の構築を図る

科目 介護実習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
介護従事者としての職業倫理及び基礎的・基本的な知識と技術を活用した介護支援が選択できるようになる	職員の方や利用者の方のかかわりを通じて介護の実際を学び、適切な態度と言葉使いで他者と関係性を育み、適切な表現を用いて実習記録に記入できる	施設実習での様々な場面において、なぜそのような支援が必要なのか、介護の本質は何かについて深く理解しようと努め、関心を持つて実習に望んでいる

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	介護実習事前指導	実習の手引き 実習の心得 実習記録の書き方 実習の留意点等 テキスト・教科書・手引き等を用いて指導	福祉の見方、考え方を働かせ、実践的・体験的な実習目標を心得ている 介護実習の留意点を正しく理解し、実践できている 学習に対する積極性がみられる	○	○	○	5
	夏季休業	施設実習（通所介護施設） 巡回指導を定期的に実施 実習指導者との連絡調整	福祉の見方、考え方を働かせ、実践的・体験的な介護実習を積極的に行えた 介護及び支援の実践に関連する技術を身に付けた 安全で健全な介護実習を実施し、適切に振り返ることができた	○	○	○	70
2 学期	5日間の施設実習	施設実習（障がい者施設） 巡回指導を定期的に実施 実習指導者との連絡調整	福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な介護実習を積極的かつ安全に実施できた コミュニケーションを積極的に活用し、利用者理解に努めた 専門用語を活用し、正しく記録できた	○	○	○	25
	介護実習事後指導	実習成果のまとめ 成果発表会に向けての準備	介護実習での学びを生かし、健全な福祉社会に向けた学びがあった 介護実習を通じた学びを適切に振り返り、専門用語を用いてまとめることができた 今後の学習及び介護実習につなげる学びを適切にまとめている	○	○	○	5
3 学期							
							合計 105

年間授業計画

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 福祉 科目 介護総合演習

教科：福祉 科目：介護総合演習 単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 6組

使用教科書：（介護総合演習・介護実習 中央法規）

教科 福祉 の目標：

【知識及び技能】福祉の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける

【思考・判断・表現】福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う

【主体的に学習に取り組む態度】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会福祉の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う

科目 介護総合演習 の目標：介護実習などについて、他科目で学んだ知識などを統合し、課題解決に必要な資質・能力を育成する

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
地域福祉や社会福祉について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。	地域福祉や社会福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ解決策を探索し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、地域福祉や社会福祉の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・介護演習 【知識・技能】 介護実習が適切かつ総合的に展開できるように、介護実習の意義や目的などについて理解するとともに、関連する技術を身に付ける 【思考・判断・表現】 介護実習を通して個人情報保護やリスクマネジメントなどについて課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する 【主体的に学習に取り組む態度】 地域での継続した生活を支援する介護実習について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む	・指導事項 介護演習 事例研究 ・教材 プリント、PC端末	【知識・技能】 介護実習施設の概要のみならず、意義や目的、実習生としての心構えなどの説明された内容を理解し、適切に記入する 【思考・判断・表現】 これまで他科目で学んだ知識と技術を統合し、具体的な事例について考察し、より良い生活支援について記入する 【主体的に学習に取り組む態度】 具体的な事例をから得た課題について、解決方法などをグループの中で話し合い、より良い方法を見つけ出し、発表する	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
2 学 期	・事例研究 【知識・技能】 事例研究を通してサービス利用者の心理や生活状態などについて理解するとともに、関連する技術を身に付ける 【思考・判断・表現】 介護実習や福祉活動などから得た体験についての課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する 【主体的に学習に取り組む態度】 介護実習や福祉活動などから得た体験について自ら学び、事例研究に主体的かつ協働的に取り組む	・指導事項 事例研究 ・教材 プリント、PC端末	【知識・技能】 介護実習を通して、利用者の心理や生活状態などについて、理解するとともに記入する 【思考・判断・表現】 介護実習から福祉専門職として必要な援助方法や価値観について考え、プリントに記入する 【主体的に学習に取り組む態度】 介護実習の経験から得た課題について、解決方法などをグループの中で話し合い、より良い方法を見つけ出し、発表する	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
3 学 期	・調査、研究、実験 【知識・技能】 調査、研究、実験を通して、福祉の各分野について理解するとともに、関連する技術を身に付ける 【思考・判断・表現】 福祉の各分野について、調査、研究、実験などを通して課題を発見するとともに、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する 【主体的に学習に取り組む態度】 福祉の各分野について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む	・指導事項 調査、研究、実験 ・教材 プリント、PC端末	【知識・技能】 社会福祉基礎の内容と介護実習での経験から、関連する部分を理解し、記入する 【思考・判断・表現】 介護実習や社会人講師の講演を通して、地域福祉について、福祉施設の役割等を考察し、その内容を記入する 【主体的に学習に取り組む態度】 これまでの学習や経験をを通して、これからの福祉に必要なことなどを、グループで話し合い、まとめた内容を発表する	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
							合計
							35

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 福祉 科目 介護福祉基礎

教 科： 福祉 科 目： 介護福祉基礎 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 6 組

使用教科書：（ 介護福祉基礎 実教出版 ）

教科 福祉

- の目標：
- 【知 識 及 び 技 能】 介護に必要な知識や意義、役割について体系的・系統的に理解していると共に、関連する介護技術を身に付けている
- 【思考力、判断力、表現力等】 介護に関する諸問題を発見し、介護従事者としての倫理観を踏まえて、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている
- 【学びに向かう力、人間性等】 より良い介護を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目 介護福祉基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
介護に必要な知識や意義、役割について体系的・系統的に理解していると共に、関連する介護技術を身に付けている	介護に関する諸問題を発見し、介護従事者としての倫理観を踏まえて、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている	より良い介護を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	介護の意義と役割 【知識及び技能】 尊厳を支える介護 自立に向けた支援 【思考力、判断力、表現力等】 基本的人権の尊重の実現を目指した介護の意義や役割を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 生活の質を高める介護について考察する。	介護の意義と役割を理解し、尊厳を踏まえた介護を適切に行う能力と態度を身に付ける。 【教科書、ワークシート、端末】	【知識・技能】 ワークシート・実習 【思考・判断・表現】 発問、発表・実習 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート	○	○	○	8
	介護福祉の担い手 【知識及び技能】 介護の歴史と現状 【思考力、判断力、表現力等】 介護保険制度が始まった社会の背景を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 介護を取り巻く状況を理解する。	介護の意義と役割を理解し、歴史と現状を踏まえた介護を適切に行う能力と態度を身に付ける。 【教科書、ワークシート、端末】	【知識・技能】 ワークシート・実習 【思考・判断・表現】 発問、発表・実習 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	介護福祉の担い手 【知識及び技能】 介護福祉士の養成 【思考力、判断力、表現力等】 介護に関する法律について学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 資格取得方法について理解する。	介護の意義と役割を理解し、養成を踏まえた介護を適切に行う能力と態度を身に付ける。 【教科書、ワークシート、端末】	【知識・技能】 ワークシート・実習 【思考・判断・表現】 発問、発表・実習 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート	○	○	○	8
	介護福祉の担い手 【知識及び技能】 介護支援専門員との連携 【思考力、判断力、表現力等】 介護支援専門員の役割を学び、ケアマネジメント業務に必要な取り組みを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 介護支援専門員との連携について理解する。	介護の意義と役割を理解し、介護援助計画を踏まえた介護を適切に行う能力と態度を身に付ける。 【教科書、ワークシート、端末】	【知識・技能】 ワークシート・実習 【思考・判断・表現】 発問、発表・実習 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
2 学 期	介護福祉の担い手 【知識及び技能】 ボランティアとの連携 【思考力、判断力、表現力等】 地域包括ケアシステムやボランティアの役割を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ボランティアの役割を理解する。	介護の意義と役割を理解し、地域包括やボランティアを踏まえた介護を適切に行う能力と態度を身に付ける。 【教科書、ワークシート、端末】	【知識・技能】 ワークシート・実習 【思考・判断・表現】 発問、発表・実習 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	介護福祉の担い手 【知識及び技能】 介護従事者のキャリアアップ 【思考力、判断力、表現力等】 自己研鑽の必要性を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 キャリアパスについて理解する。	介護の意義と役割を理解し、キャリアアップを踏まえた介護を適切に行う能力と態度を身に付ける。 【教科書、ワークシート、端末】	【知識・技能】 ワークシート・実習 【思考・判断・表現】 発問、発表・実習 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	介護福祉の担い手 【知識及び技能】 介護従事者の社会的地位の向上 【思考力、判断力、表現力等】	介護の意義と役割を理解し、社会的地位を踏まえた介護を適切に行う能力と態度を身に付ける。 【教科書、ワークシート、端末】	【知識・技能】 ワークシート・実習 【思考・判断・表現】 発問、発表・実習				

3 学 期	処遇改善について理解し、環境づくりを考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 介護従事者の社会的地位向上のための取り組みについて理解する。		【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	介護福祉の担い手 【知識及び技能】 介護の役割、専門性 【思考力、判断力、表現力等】 多職種がかかわる必要性について学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 介護がチームで行われることを理解する。	介護の意義と役割を理解し、多職種連携を踏まえた介護を適切に行う能力と態度を身に付ける。 【教科書、ワークシート、端末】	【知識・技能】 ワークシート・実習 【思考・判断・表現】 発問、発表・実習 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート	○	○	○	8
							合計
							70

年間授業計画

高等学校 令和5年度（1 学年用） 教科		福祉	科目 社会福祉基礎
教 科： 福祉	科 目： 社会福祉基礎	単位数： 1	単位
対象学年組：第 1 学年 6 組			
使用教科書：（ 社会福祉基礎 実教出版 ）			
教科 福祉 の目標：			

- 【知 識 及 び 技 能】福祉の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- 【思考・判断・表現】福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- 【主体的に学習に取り組む態度】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 社会福祉基礎 の目標：	
【知識・技能】	【思考・判断・表現】
社会福祉の実践において必要な知識について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	社会福祉の展開に関する諸課題を発見し、援助者としての倫理観をふまえて、合理的かつ創造的に解決をする力を身に付けている。
【主体的に学習に取り組む態度】	【主体的に学習に取り組む態度】
社会福祉の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	社会福祉の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	社会福祉の理念 【知識・技能】 生活を支えるしくみを理解し、今後の地域社会と社会福祉との関わりについて理解する。 【思考・判断・表現】 基本的人権の尊重を理念として様々な人権に関する各種条約が採択されていることを理解し、今後の共生社会のあり方を考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 基本的人権の尊重を理念として様々な人権に関する各種条約が採択されていることを理解し、今後の地域社会と社会福祉との関わりについて主体的に考察する。	指導事項 ・現代の福祉理念 ・日本国憲法と社会福祉 ・地域生活と社会福祉 教材 ・ワークシート 等 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 社会福祉の理念について体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識や技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 社会福祉の理念に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、社会福祉の理念の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	生活と福祉 【知識・技能】 家族の多様化と働き方の変化について理解するとともに、疾病構造の変化が医療に及ぼす影響と健康増進の取り組みについて理解する。 【思考・判断・表現】 日本の人口の推移とそれに伴う社会福祉の課題について理解するとともに、ICT技術の進歩による産業構造の変化や地域社会の変化について理解し、今後の地域社会のあり方を考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 時代の変化に伴うライフコースの多様化について理解し、個人の人生における社会福祉施策との関わりを主体的に考察する。	指導事項 ・少子高齢化と人口減少に向かう日本 ・産業と地域社会の変化 ・家族と働き方の変化 ・疾病構造の変化 ・人の一生と社会福祉 教材 ・ワークシート 等 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 生活と福祉について体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識や技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生活と福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、生活と福祉の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
2 学 期	諸外国における社会福祉 【知識・技能】 イギリスや北欧における福祉国家誕生の流れと歴史を理解するとともに、諸外国の社会福祉の歴史や特徴について理解する。 【思考・判断・表現】 諸外国の変遷の様子や北欧から発信されたノーモライゼーションの理念を理解し、諸外国のの取り組みをふまえて、今後の社会福祉のあり方を考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 国によって社会福祉の状況は異なることをふまえて、共通する少子高齢化や貧困の問題などを理解し、諸外国と日本との違いを考察し、諸課題について主体的に解決する。	指導事項 ・社会福祉の歴史 ・イギリスにおける社会福祉の発展 ・アメリカにおける社会福祉の発展 ・北欧の社会福祉 ・ヨーロッパ大陸諸国の社会保障（ドイツ、フランス） ・アジアの少子高齢化と社会福祉の課題 教材 ・ワークシート 等 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 諸外国における社会福祉について体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識や技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 諸外国における社会福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、諸外国における社会福祉の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	日本における社会福祉 【知識・技能】 戦後の社会福祉制度の構築の過程と理念について理解するとともに 【思考・判断・表現】 社会福祉の見直しとして日本型の福祉論が提起され、ノーモライゼーションの理念が社会福祉に反映	指導事項 ・近代社会福祉の黎明期 ・社会事業の成立と発展 ・戦時厚生事業による福祉対策 ・戦後対策としての社会福祉の構築 ・高度経済成長期と社会保障・社会福祉の拡充 教材 ・ワークシート 等 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 日本における社会福祉について体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識や技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 日本における社会福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。				

3 学 期	セッションの理念や在宅福祉の推進や介護保険制度の導入の流れを学ぶ。 【主体的に学習に取り組む態度】 福祉六法から2000年以降の福祉サービスの変化を理解し、幅広い分野との協働による今後の福祉のまちづくりについて考察する。	・新世紀に向けた福祉改革と介護保険制度の導入 ・子ども・家庭支援のさらなる充実をめざして ・障害者福祉のさらなる充実をめざして ・次代に向けた新たな社会福祉の挑戦 教材 ・ワークシート 等 ・一人1台端末の活用 等	している。 【主体的に学習に取り組む態度】 健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、日本における社会福祉の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	人間の尊厳と新たな社会福祉の創造 【知識・技能】 現代の社会福祉が自立生活支援を目指していることを理解し、社会の変化やニーズに応じて今後の自立生活支援のあり方を理解する。 【思考・判断・表現】 人間に内在する「人間の尊厳」という価値を理解し、福祉サービス利用者に対する自立支援のあり方を考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 社会的包摂の実現に向けて求められる福祉社会像を理解し、行政や専門職だけでなくボランティアと協働する意義や役割を理解する。	指導事項 ・人間としての尊厳 ・自立支援生活 ・新たな社会福祉の構築に向けて教材 ・ワークシート 等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 人間の尊厳と新たな社会福祉の創造について体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識や技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 人間の尊厳と新たな社会福祉の創造に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、人間の尊厳と新たな社会福祉の創造の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
							合計
							35

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 福祉 科目 生活支援技術			
教 科：	福祉	科 目：	生活支援技術
		単位数：	3 単位
対象学年組：	第 1 学年 6 組		
使用教科書：	（ 実教出版：「生活支援技術」 中央法規：「生活支援技術Ⅰ」「生活支援技術Ⅱ」 ）		
教科 福祉	の目標：	福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、福祉を通じ人間の尊厳に基づく地域福祉の推進と持続可能な福祉社会の発展を担う職業人として必要な資質能力を育成する。	
【 知 識 及 び 技 能 】	福祉分野の専門職として根拠に基づいた技術を知識と技能が融合でき支援できる動作が培う。		
【思考力、判断力、表現力等】	個々の生活に関連課題に関連した課題を明確にすることで、専門職としての意識を育む。		
【学びに向かう力、人間性等】	他者理解を深めるためにも自身に置き換え考察することができ、共に生活力を向上できる。		
科目 生活支援技術	の目標：	利用者の自立支援を目的とする介護の役割を理解するとともに、基本的な介護の知識と技術を身に着ける。 様々な介護場面の中で、利用者の立場を重視した適切かつ安全な介護技術を実践に移す能力と態度を身につける。	

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
主体的な生活支援が行えるよう体験学習を通して、専門職としての視点を育むことができる。技術は根拠に基づいて行われていることが理解できる。	一連の技術支援を言語化することができ、支援における際のポイントなどの留意点に用語色別、文書構成力を向上することができる。	自身の生活力を高める努力を養い、段階的な成長ができるよう専門職としての意識を培え、自律に向けた人間性を育成することができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章 生活支援の理解（検定） 第1節生活に視点を置く 第2節生活支援の考え方 【知識及び技能】 基礎知識であるからだの仕組み機能、役割を理解でき、専門的な技術支援を用いていることがわかる。 【思考力、判断力、表現力等】 体験から気づきの視点を専門用語を用いて、表現（言語化）できる。 【学びに向かう力、人間性等】 自らも生活支援者としての自覚を持ち、課題意識をもって生活に取り組める。	「指導事項」 自己の生活を理解し不自由を体験 「演習」 ①高齢者の擬似体験 P199 ②視覚障害者疑似体験 ③車いす体験 P52 ⑤ペットでの突起のあたりを体験 ⑥いろいろな福祉用具の体験 「講義」 1）日常生活の理解 P2～17 2）生活支援の考え方 P14 ①車椅子の名称、操作、点検方法 ②ペットの名称、操作、点検方法 ③基本的な姿勢 ④体験を通し、行動を意識化する ⑤専門職としての意識を高める ※専門的視点、気づきの言語化	【知識・技能】 基礎知識であるからだの仕組みが理解でき、体の機能、役割を知ることができる。 【思考・判断・表現】 体験から得た気づきの視点を言語化して表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自らも生活支援者として意識をもって、日常生活から課題意識を生活に取り組める。	○	○	○	6
	定期考査			○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	第4章 移動の介護（検定） P72 第1節 移動意義と目的 P87 第2節 移動・移乗における介護技術 1 移動・移乗の介護の基本的理解 副教材：生活支援技術Ⅰ P87 中央 第8章 睡眠の介護（検定） P122 副教材：生活支援技術Ⅱ P227 中央 【知識及び技能】 用具の特徴を把握し、利用者動きに合わせた技術支援がわかる。 【思考力、判断力、表現力等】 利用者の方の動きに合わせ、一動作一声かけを行い安全に誘導できる。 【学びに向かう力、人間性等】 専門職としてのかかわる際の意識、責務が発生するこがわかる。	「指導事項」 基本的な技術手順の習得 「演習」中央法規： 1）シーツのたたみ方 P239 2）ベットメイキング P227 ※実技試験 5分 ①ボディメカニクス P89・検76 ②安楽な体位 P120 ③杖歩行、用具体験 ※実技試験 5分 「講義」 Ⅰ 1）睡眠環境について 検・P122 ①睡眠の意義と目的 P340 ②安楽な体位、安眠の条件 P337 ③褥瘡の原因、予防 P134 ボディメカニクス P133 ④長期臥床（廃用症候群 P99） ⑤道具・用具 P139	【知識・技能】 用具の特徴を把握し、基本的動作が習得でき、利用者の方に合わせた技術を提供できる。 【思考・判断・表現】 ボディメカニクスを活用し、介護者ともに身体に負荷がかからない支援の在り方を考え、動きを修正することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 支援をイメージすることができ、自己の動作を修正できる能力を習得することができる。	○	○	○	14
	定期考査 夏休み 期間中（実習 10日間）	夏休み課題		○	○		1
2 学 期	第3章 身支度の介護 P62 第1節 身支度の意義と目的 P87 3、衣類の着脱 P70 副教材：衣類の着脱の介助 P47 浴衣の交換 P64 第1章 家庭生活関連の基本知識 第1節 家庭生活の理解 第2節 家庭生活の営み 【知識及び技能】 衣服の素材がわかり、季節や活動に合わせた衣類を選ぶがわかる。 【思考力、判断力、表現力等】 利用者の方の動きに合わせ、一動作一声かけを行い安全に誘導できる。 【学びに向かう力、人間性等】 活動に合わせ衣服選び、個人の好みを尊重した選択を理解できる。	「指導事項」 しわを作らないシーツ交換 「演習」 Ⅱ 1）シーツ交換（試験） 2）体位変換 3）衣類の着脱練習導入 4）トロミ体験 ①とろみの役割、食感の違い 「講義」 検定P66 中央P225 1）身支度としての意義と目的 ①利用者に合わせた衣類の選び方 ②場所に合わせた服選び ③衣類の性質、手入れの仕方 ④衣類のたたみ方 2）紙おむつの種類、機能 ①床上でのあて方 ②立位で背面からの当て方	【知識及び技能】 衣服の素材がわかり、季節や活動に合わせた衣類を選ぶことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 利用者の方の動きに合わせ、一動作一声かけを行い安全に着脱できる。 【学びに向かう力、人間性等】 活動に合わせ衣服選び、個人の好みを取り入れた選択することができる。	○	○	○	20
				○	○	○	22
	第1章 居住環境の整備 検定P36	講義 ……	【知識及び技能】 ……				

3 学 期	中央P32 第1章 居住環境整備の意義 P36 第2節 安心で快適な生活の場 P40 【知識及び技能】 快適な生活空間としての「場」とし居場所としての住まいがわかる。 【思考力、判断力、表現力等】 生活導線をイメージでき、安全な居住空間をわかる。	①基本的人権 ②バリアフリーについて P37 ・各自、各家のバリアについて ③福祉用具の活用方法 P37・P98 (ユニバーサルデザインについて) ④居住環境整備の意義と目的 P68～ ⑤介護保険について ・住宅改修と福祉用具 ・申請の流れと活用	住居の役割がわかり、快適な空間を整備するため介護保険制度活用が理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 安全な居住空間をイメージでき、リスクを予防できる能力を養うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自己の生活環境に置き換えてイメージすることができ、居住空間を考察できる。	○	○	○	26
	【学びに向かう力、人間性等】 生活をイメージすることができる、自己の生活環境がわかる。						
							合計
							105

年間授業計画

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 人間と社会 科目 人間と社会

教科：人間と社会

科目：人間と社会

単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 1組～6組

使用教科書：（東京都教育委員会「人間と社会」）

教科 人間と社会

の目標：

【知識及び技能】予測できない社会の変化や課題に対しての解決に向けての必要な知識を身に付ける

【思考力、判断力、表現力等】情報を分析し、多角的・多面的に考察する力や、それを基に議論したりする力を養う

【学びに向かう力、人間性等】人間としての在り方や生き方に対する自覚を深め、よりよい社会を実現しようとする態度を養う

科目 人間と社会

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自ら設定したテーマに沿って、地域社会と連携して、地域社会の充実向上を目指し。専門高校で学んだ知識及び技術を生かして、より良い社会の課題を見つけようとする態度を育成する	グループワークを通じてまわりとの意見交換や自分の考えが表現できるようにする	地域の課題解決や企業の取り組みなどから、さらに自分たちに何ができるかを考え、さらに創造する力を養う

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	探究オリエンテーション	実施要項 ワークブックによる グループエンカウンター	主体的に取り組む態度 ワークシートの完成度 グループワークの協力度	○	○	○	2
	序章 人間と社会 学習の視点	教科書 ワークプリントによる	主体的に取り組む態度 ワークシートの完成度 グループワークの協力度	○	○	○	4
	第1章 人間関係を築く	教科書 ワークプリントによる	主体的に取り組む態度 ワークシートの完成度 グループワークの協力度	○	○	○	4
	体験活動 防災体験活動実施	ワークシート 他	主体的に取り組む態度 ワークシートの完成度	○	○	○	4
2 学 期	未来の仕事を考える	ワークシート 他	主体的に取り組む態度 ワークシートの完成度 グループワークの協力度	○	○	○	4
	職業体験ガイダンス 体験活動（地域ボランティア）	職業人による講話 職業研究	主体的に取り組む態度 ワークシートの完成度 グループワークの協力度	○	○	○	10
	SDGs企業の取り組み	企業の取り組みから学ぶ さらなる社会の発展に向けての課題	主体的に取り組む態度 ワークシートの完成度 グループワークの協力度	○	○	○	2
3 学 期	第7章 選択し行動する 第8章 チームを動かす力 第12章 支え合う社会	チームとは リーダーとは 社会の変化に対応する力	主体的に取り組む態度 ワークシートの完成度 グループワークの協力度	○	○	○	5
							合計
							35

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 総合的な探究の時間

教科： 総合的な探究の時間 科目： 総合的な探究の時間 単位数： 1 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（なし）

教科 総合的な探究の時間 の目標：

【知識及び技能】探究的な見方や考え方を養い、自分の在り方生き方を考えながら、社会の課題と向き合い、解決していく能力を育成する。

【思考力、判断力、表現力等】大学関係者、地域の方とのかかわりを通して、身の回りで抱える課題は何かを見つけ、解決しようとする意識を育む。

【学びに向かう力、人間性等】自主性、実践力、課題発見力を育成し、次年度以降の課題研究へとつなげる。

科目 総合的な探究の時間 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
探究的な見方や考え方を養い、自分の在り方生き方を考えながら、社会の課題と向き合い、解決していく能力を育成する。	大学関係者、地域の方とのかかわりを通して、身の回りで抱える課題は何かを見つけ、解決しようとする意識を育む。	自主性、実践力、課題発見力を育成し、次年度以降の課題研究へとつなげる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 単元 オリエンテーション 北桜探究とは何か 高校生活での学び、探求学習について 目標を立て、真摯に取り組む態度 を育てる。	グループエンカウンター、学習について、手帳の活用法、講演、マンガラードの作成 他	【知識・技能】ワークシート 他者を認めるということが理解できた） 【思考・判断・表現】ワークシート 高校生活での目標を立てることができたか 【主体的に学習に取り組む態度】グループ ワークに参加する態度が意欲的か	○	○	○	3
	B 単元 言語による分析・まとめ・ 表現 図書館の活用方法、わかりやすく伝える 方法などを学び、事後の探究活動 へとつなげる。	(1) 図書館の活用 (2) 聞き取る力と書く力、読み 取る力～絵の読解～ (3) ビブリオバトル (4) 意見を深める～マインド マップ～	【知識・技能】ワークシート図書館の活用方法・わかりやすく伝える方法について理解できたか【思考・判断・表現】ビブリオバトルでは本のおもしろさを表現できたか 【主体的に学習に取り組む態度】ワークシート 図書館の活用について、わかりやすく伝える方法について、まとめることができたか	○	○	○	6
	C 単元 情報の処理方法 情報の集め方、処理方法について知り、 事後の探究活動へとつなげる。	(1) 情報の集め方 (2) データやグラフを読み取る (3) 資料の整理 (4) 科学レポートを読む	【知識・技能】ワークシート 情報の処理方法について理解できたか 【思考・判断・表現】一人一台端末を活用し、表現することができたか 【主体的に学習に取り組む態度】ワークシート 情報の処理方法について、まとめることができたか	○	○	○	4
	D 単元 他者との協働 探究活動に向けて 研究について、実際の大学生の講演 を聞き、「研究」を具体的にイメージ する。	(1) 大学生の研究について知る (2) 探究活動の流れ (3) 問いの立て方	【思考・判断・表現】大学生の講演を聞き、 探究してみたいものの問いを考えることが できたか 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート 自らが取り組む「研究」についてイメージ することができたか		○	○	2
2 学期	実践探究活動Ⅰ発表 自らが学びたい内容について各自が 調査をし、共有することで、視野を 広げる。	(1) 進路に関する調査 ①調査 の計画②調査③まとめ 実践探究活動Ⅰ ④発表	【思考・判断・表現】職業とそれに関連する 進路について、考えることができたか 【主体的に学習に取り組む態度】 発表 進路についての各自の探究をわかりやすく他 者に伝えるよう努力をしたか。他者の発表を 聞き、自らの探究につなげる要素を発見で きたか		○	○	6
	地域の課題改善 SDG s SDG s について学び、持続可能な 社会のために自らができることを考 える。	1) SDG s を意識した地域の魅力 (2) SDG s を意識した地域の 課題① (3) SDG s を意識した地域の 課題②	【知識・技能】SDG s の取り組みについて理解 できたか【思考・判断・表現】SDG s の取り 組を知り、自分なら何ができるかを考える ことができたか 【主体的に学 習に取り組む態度】 ワーク シート SDG s を意識した地域の課題について考える ことができたか	○	○	○	6
3 学期	実践探究活動Ⅱ 研究者の講演を通して、地域や自らの 課題を考え、解決へ向けての具体的 な取り組み（課題研究）の内容を考 える	(1) 研究者の講演を聞く (2) 地域の課題解決 ①調査の計画 ②調査 ③まとめ	【思考・判断・表現】研究者の研究への取り 組み方について自分とどう違うかを考える ことができたか 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート 地域の課題について考え、具体的な取り組み の内容を考えることができたか		○	○	4
	まとめ 1年間の取り組みのまとめ 学習成果報告会	振り返り (1) 自己評価 (2) 課題研究に向 けて (3) 学習成果報告会準備・発表	【思考・判断・表現】学習成果報告会で学び をわかりやすくまとめ、発表できるか 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート 1年間の学習を振り返り、課題研究について考 えることができたか		○	○	4
							合計 35